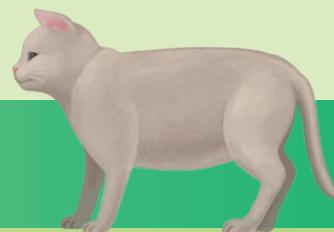
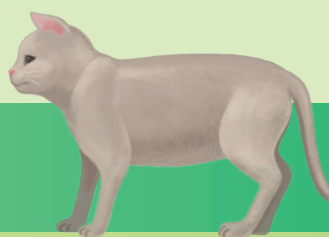
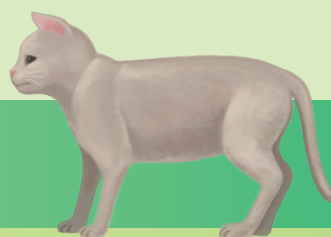


動物の虐待事例等調査報告書

令和4年度



環境省

令和4年度
動物の虐待事例等調査報告書

もくじ

I	はじめに	1
II	新聞報道された動物の虐待等の事例	2
	①殺傷	2
	②虐待	11
	③遺棄	21
III	動物の虐待等の判例	24
	①動物の愛護及び管理に関する法律の違反人員	24
	②判例の一覧	25
	巻末参考	26

I はじめに

2023（令和5）年、「動物の愛護及び管理に関する法律」の前身である「動物の保護及び管理に関する法律」の制定から、50年を迎えます。この50年の間、同法の目的である「動物を愛護する気風の招来及び動物による人の生命・身体・財産への侵害の防止」を図るため、人と動物との関係性の変容に伴い、目的の後に続く各細則の改正がなされ、動物の適正な飼養や管理の在り方等が見直されてきたところです。

動物虐待等に関しては、改正の度に罰則が強化されてきました。2019（令和元）年6月の改正においては、「愛護動物殺傷罪」（法第44条第1項）について、「2年以下の懲役または200万円以下の罰金」から「5年以下の懲役または500万円以下の罰金」に、「愛護動物虐待罪」（同条第2項）及び「愛護動物遺棄罪」（同条第3項）については「100万円以下の罰金」から「1年以下の懲役または100万円以下の罰金」と引き上げられています。

環境省では、主に地方公共団体における動物虐待等への対応強化のため、2007（平成19）年度より動物虐待等の事例に関する報道及び判例等の収集を重ね、4度にわたり事例集としてとりまとめ、公表してきました。本事例集は2018（平成30）年度作成の第4版の続編に当たるものです。

動物虐待等違反人員は、第4版作成時より更に大幅に増加しました。

依然として殺傷といった悪質な事件が後を絶たない一方で、単に動物の所有者・管理者として適切な世話をしない、いわゆる「ネグレクト」の事例、とりわけ、世話の放棄と無秩序な個体増加の悪循環に陥る「多頭飼育崩壊」の事例も目立つようになりました。国民の処罰感情の高まり、そして、各関係団体における事例への対応の強化により、今後もこのような形態の虐待がしばしば明るみに出てくることが想定されます。

起きてしまった動物虐待等の事例を社会への戒めとして共有し、引き継いでいくことは、動物虐待等罪に関する理解の深化及び対応の確実性の向上につながります。

当該事例集が広く皆様の目にとまり、動物虐待等の防止に資することを願います。

2023（令和5）年3月

Ⅱ 新聞報道された動物の虐待等の事例

① 殺傷

	事件発生年月日	事件発生場所	動物	主体	内容
1	2018 以降	群馬県伊勢崎市	猫 25 頭以上	—	伊勢崎市の住民グループが管理する地域猫について 2018 年以降、背中 の皮がはがれるなど 25 頭以上が大けがをし、うち 3 頭が死んだ。 (2022/5/26 上毛新聞)
2	2018/1 頃	神奈川県横浜市	ウサギ 2 匹	女性・19 歳	2018 年 7 月 20 日、港北署はウサギを盗んだとして窃盗の疑いで逮捕した 少女を動物愛護管理法違反の疑いで追送検した。追送検容疑は 2018 年 1 月 17～28 日、自宅でウサギ 2 匹を水を張った浴槽に放り込むなどして放 置し、虐待死させた容疑。(平成 30 年度報告書 II 新聞事例 ①殺傷 事 例 72 に掲載) 2018 年 8 月 6 日、横浜家裁は少女について、初等・中等(第 1 種)少年 院送致とする保護処分を決定した。 (2018/6/28 神奈川新聞、2018/7/21 東京新聞・神奈川新聞、2018/7/24 読売新聞、2018/7/25 神奈川新聞、2018/8/6 神奈川新聞)
3	2018/3/25	沖縄県中城村	犬 6 頭	男性・54 歳	2018 年 6 月 12 日、沖縄県警は動物愛護管理法違反の疑いで男性(54)を 沖縄区検に書類送致した。2018 年 3 月 25 日午後 3 時～26 日午後 4 時 20 分頃までの間、自宅近くの私有地で、飼っている犬が産んだ子犬 6 頭を土 の中に埋めた疑い。 (2018/6/13 沖縄タイムス)
4	2018/5/6	千葉県船橋市	猫 複数頭	—	2018 年 5 月 6 日、船橋市中山のマンション敷地内で子猫の頭部、約 40 メー トル離れたアパート敷地内で、頭部や前脚等が切られた子猫とみられる死 体 2 体が見つかった。 (2018/5/8 朝日新聞・読売新聞・東京新聞)
5	2018/5/9	滋賀県長浜市	猫 1 頭	—	2018 年 5 月 9 日、長浜市公園町の豊公園で、首にロープが巻かれた猫の 死骸が見つかった。 長浜署管内では 2013 年 2 月から 2018 年 2 月にかけて、損壊された猫の死 骸が見つかる事件が 12 件発生している。 (2018/5/10 朝日新聞・中日新聞)
6	2018/5/22	福岡県福岡市	猫 複数頭	—	2018 年 5 月 22 日、福岡市早良区飯倉で腹部に切り傷がある猫が見つ つた。5 月 31 日には早良区原の駐車場で頭がつぶれた子猫の死骸、6 月 1 日には西区野方でも頭のない子猫が見つかった。 (2018/6/7 朝日新聞)
7	2018/6/1	福岡県福岡市	猫 2 頭	—	2018 年 6 月 1 日、福岡市南区野間のアパートのゴミ置き場で、猫の死骸 2 体が見つかった。1 頭は頭部や前脚が切断され、もう 1 頭は腹部に複数 の刺し傷があった。 (2018/6/2 朝日新聞・読売新聞・日本経済新聞)
8	2018/6/4	沖縄県北谷町	猫 1 頭	—	2018 年 6 月 4 日、北谷町砂辺の路上に猫の死体が放置されていた。 猫は頭が胴体からほぼ切り離され、前後の足もなかった。 2017 年 11 月から砂辺では猫の死体が今回を含め 6 回見つかった。3 日夜には沖縄市南桃原でも猫の死体が見つかった。 (2018/6/7 沖縄タイムス)
9	2018/6/15	滋賀県栗東市	猫 1 頭	—	2018 年 6 月 15 日、栗東市上鉤の畑で、頭部がない猫 1 頭の死骸が見つ つた。首には鋭利な物で切断されたような痕があった。草津署管内(草津市、 栗東市)では 2017 年の 6 月と 7 月に猫の体の一部が見つかった。 (2018/6/16 朝日新聞・中日新聞)
10	2018/6/21	福岡県福岡市	猫 複数頭	—	2018 年 6 月 21 日、福岡市早良区飯倉の民家で複数の猫の死体が見つ つた。猫は 1 カ所に集められ、刃物のような物で切断されたり、体の一部を 潰されたりしていた。いずれも首輪はしていなかった。 (2018/6/22 朝日新聞・読売新聞・日本経済新聞)
11	2018/7/12	福岡県福岡市	猫 1 頭	—	2018 年 7 月 12 日、福岡市早良区次郎丸の貸しコンテナの敷地内で、首が 刃物のようなもので切断された猫の死骸が見つかった。 (2018/7/14 朝日新聞・読売新聞)
12	2018/8/3	北海道釧路市	猫 1 頭	—	2018 年 8 月 3 日、釧路市美原の住宅街で、散歩中の女性が歩道に猫の頭 部があるのを見つけた。 (2018/8/4 読売新聞)

	事件発生年月日	事件発生場所	動物	主体	内容
13	2018/9/30	滋賀県甲賀市	猫 1 頭	—	2018 年 9 月 30 日、甲賀市甲南町竜法師の畑に頭部のない猫の死骸があるのを、畑を所有する 50 代の男性が見つけた。 (2018/10/2 中日新聞)
14	2018/10 ~ 2019/9	群馬県 みなかみ町	猫 複数頭	男性・46 歳	2019 年 10 月 4 ~ 5 日、みなかみ町鹿野沢の民家と元民宿の建物計 2 棟に少なくとも計 20 頭の猫の死骸が放置されていた。尻尾や骨だけの死骸もあり、正確な数は不明。猫は元民宿に住んでいた男性が飼育していたが 2018 年 7 月に男性が死亡。別の男性(46)が家を借りて猫を飼っていたが、2019 年 9 月頃から連絡が取れなくなった。 2020 年 7 月 8 日、群馬県警は動物愛護管理法違反の疑いで男性を逮捕した。2018 年 10 月頃から 19 年 9 月頃までの間、飼育していた猫の餌やりなどの世話を怠り、10 頭以上を死なせた容疑。家の各部屋は閉じられていて、猫が外へ出られないよう外側から釘が打たれる、ひもでつながれる等の状態で、署はこうした状況から、死ぬとわかって閉じ込めたとして、虐待ではなく殺傷に当たると判断した。放置死は通常、虐待とされることが多く、殺傷の適用は珍しいという。 2020 年 7 月 28 日、前橋区検は男性を前橋簡裁に略式起訴した。前橋簡裁は同日、罰金 10 万円の略式命令を出した。 (2019/10/10 朝日新聞、2019/10/11 東京新聞、2020/4/28 読売新聞、2020/5/6 東京新聞、2020/5/16 朝日新聞、2020/7/9 朝日新聞・読売新聞・静岡新聞、2020/7/10 東京新聞、2020/7/29 朝日新聞・読売新聞)
15	2018/11/ 17,24 日頃	神奈川県 相模原市	猫 5 頭	男性・29 歳	2018 年 11 月 18 日に相模川の河川敷や近くの住宅街の駐車場で猫 4 頭、同 25 日に猫 1 頭の死骸が見つかった。キャットフードと青色の粉末が入った容器が置かれていた。5 頭に外傷はなく、青色の粉末は「ランネート」と呼ばれる農薬で、県警科学捜査研究所が死骸等を調べ、農薬による中毒死と判明した。 2019 年 2 月 25 日、相模原署は動物愛護管理法違反の疑いで男性(29)を横浜地検相模原支部に書類送検した。2018 年 11 月 17 日頃と同 24 日頃、相模原市中央区の相模川河川敷で、「ランネート」の粉末を混入させたキャットフードを置き、食べた猫 3 頭を殺した疑い。事件直後、Web 上の掲示板に「猫を毒餌で殺した」などの書き込みがあり、記録をたどるなどして男性を割り出した。死亡した猫 5 頭のうち、農薬成分が検出された 3 頭が殺されたと断定した。 (2018/11/26 神奈川新聞、2018/11/27 読売新聞、2019/2/25 読売新聞・産経新聞・神奈川新聞、2019/2/26 朝日新聞・読売新聞・産経新聞・東京新聞・日本経済新聞)
16	2018/12/26 ~ 2019/1/31	兵庫県姫路市	猫 複数頭 ハト 3 羽	—	2019 年 1 月 7 日、姫路市飾磨区妻鹿の路上で、内臓のない猫の死体が見つかった。2018 年 12 月 26 日、右後ろ脚が切断された猫の死骸が見つかり、1 月 3 ~ 6 日には路上や民家敷地で、首を刃物で切られたとみられるハト 3 羽が発見されている。 2019 年 1 月 10 日、姫路市東延末で、尻がない猫の死体が見つかった。約 5 メートル離れた植え込みに猫の尻尾があった。 2019 年 1 月 31 日、姫路市余部で、猫が見つかった (2019/1/8 朝日新聞・日本経済新聞、2019/1/11 朝日新聞、2019/2/1 朝日新聞)
17	2019/1/18	千葉県千葉市	猫 複数頭	—	2019 年 1 月 8 日、千葉市美浜区の稲毛海浜の駐車場で猫が脇腹から血を流して倒れているのを発見された。長さ約 1 センチ、直径約 5 ミリの鉛製の弾のようなものが見つかり、21 日に摘出手術を行ったが 2 月 15 日に死んだ。2 月には、園内の別の場所でおしりから血を流している猫が発見され、首付近から弾のようなものが 2 発見された。16 年以降、猫に接着剤がかけられる、殴打されて死ぬ等の被害が計 9 件確認されている。 (2019/2/16 朝日新聞・東京新聞、2019/2/17 千葉日報)
18	2019/1/25	北海道札幌市	犬 1 頭	男性・36 歳	2019 年 2 月 27 日、北海道警札幌豊平署は動物愛護管理法違反の疑いで男性(36)を逮捕した。2019 年 1 月 25 日午後 9 時 ~ 26 日午前 6 時半頃、別居中の妻の自宅で、飼い犬 1 頭を殴るなどして殺した疑い。 (2019/2/27 読売新聞・静岡新聞、2019/2/28 毎日新聞・産経新聞・サンケイスポーツ)
19	2019/4/13	兵庫県神戸市	猫 1 頭	—	2019 年 4 月 13 日、神戸市北区緑町 4 丁目の集合住宅の敷地内で、首にひもを結びつけられた猫の死体が見つかった。 (2019/4/14 朝日新聞)

	事件発生年月日	事件発生場所	動物	主体	内容
20	2019/5/13	長崎県南島原市	猫 1 頭	—	2019 年 5 月 13 日、南島原市加津佐町のアパートの車庫で、切断された猫の頭部と脚などを住人の男性が発見した。 (2019/5/14 読売新聞)
21	2019/5/13	大阪府大阪市	犬 1 頭	—	2019 年 5 月 13 日、大阪市生野区鶴橋の北鶴ふれあい公園で、散歩中の犬が液体に浸されたドッグフード様のものを食べた後、21 日に腎不全で死んだ。死んだのは 4 歳の秋田犬。大阪府警は犬の嘔吐物から化学物質「エチレングリコール」を検出した。5 月 25 日にも液体に浸されたドッグフード様のものが見つかった。 (2019/6/3 朝日新聞・読売新聞)
22	2019/5/19 ~ 23	富山県富山市	猫 1 頭	男性・52 歳	2019 年 6 月 13 日、富山県警射水署は他人の飼い猫を盗んだとして、窃盗の疑いで男性（52）を逮捕した。動物愛護管理法違反や、器物損壊容疑も視野に入れて調べる。 2019 年 7 月 3 日、富山地検高岡支部は男性を器物損壊と動物愛護管理法違反の罪で富山地裁高岡支部に起訴した。5 月 19 日午後 1 時半ごろ、射水市内で猫 1 頭を連れ去り、同月 23 日ごろまでに、自宅でえさを与えず、棒で腹を突くなどして虐待し、殺した疑い。 2019 年 8 月 20 日、富山地裁高岡支部で初公判が行われ、男性は起訴内容を認めた。検察側が懲役 6 カ月を求刑し、弁護側は罰金刑を求めた。 2019 年 9 月 17 日、富山地裁高岡支部は懲役 8 月、執行猶予 4 年（求刑懲役 6 月）を言い渡した。求刑より重い判決を言い渡したことについて「判例などから量刑を考えたと思うが、動物愛護の意識が社会で高まりつつあることを考慮すると、検察の求刑はやや軽きに失する」と指摘。被告の行為は「残虐で計画的。虐待を楽しんでおり、酌量の余地はない」とした。 (判決については「判例の一覧（25 ページ）」の 1 番を参照) (2019/6/14 朝日新聞・読売新聞・毎日新聞・東京新聞・北日本新聞・日刊スポーツ、2019/6/29 読売新聞、2019/7/4 朝日新聞・読売新聞・北日本新聞、2019/8/21 朝日新聞・読売新聞・北日本新聞、2019/9/17 中日新聞・東京新聞、2019/9/18 朝日新聞・読売新聞・毎日新聞・日本経済新聞・北日本新聞・四国新聞・徳島新聞、2019/9/19 北日本新聞、2019/9/20 北日本新聞)
23	2019/5/28	滋賀県守山市	猫 1 頭	—	2019 年 5 月 28 日、守山市木浜町の施設敷地内で切断された猫の死骸が見つかった。猫は頭部や左後ろ脚がなかった。 (2019/5/30 朝日新聞・中日新聞)
24	2019/6/11	三重県桑名市	猫 1 頭	—	2019 年 6 月 11 日、桑名市桑名の河川敷で左前脚が切断された猫の死体が見つかった。頭部は見つかっていない。以前も計 2 件、頭部が切断された猫の死体が見つかった。 (2019/6/19 朝日新聞・中日新聞)
25	2019/8/11	静岡県三島市	ウサギ 1 匹	—	2019 年 8 月 11 日、三島市富士見台の路上に刃物のようなもので切断されたと思われるウサギの頭部が見つかった。 (2019/8/12 朝日新聞・中日新聞・東京新聞)
26	日付不詳	福岡県北九州市	猫複数頭	男性・80 代	北九州市小倉北区の離島・馬島で、猫の数が 5 年前の約 90 頭から 30 頭程度まで急減していることが判明した。 2019 年 10 月 4 日、福岡市の団体が 80 代男性を動物愛護管理法違反と鳥獣保護法違反の疑いで福岡県警小倉北署に刑事告発した。長年にわたり毒餌を使い、猫やカラスを殺傷したとしている。男性は「カラスを駆除か脅すつもりで猫が来たかは知らない」などと話した。 2020 年 6 月 5 日、福岡県警は動物愛護管理法違反と鳥獣保護法違反の疑いで男性を書類送検した。 2020 年 6 月 25 日、福岡地検小倉支部は男性を不起訴とした。「起訴するに足りる十分な証拠が得られなかった」としている。 (2019/8/1 毎日新聞、2019/8/27 日本経済新聞、2019/10/5 毎日新聞、2020/6/11 朝日新聞・読売新聞、2020/6/26 朝日新聞・読売新聞・毎日新聞)
27	2019/9/10	北海道旭川市	猫 1 頭	—	2019 年 9 月 10 日、旭川市神楽の市立神楽小学校の敷地内で、切断された猫の頭部などが見つかった。 (2019/9/11 読売新聞)
28	2019/9/29	福岡県福岡市	猫 1 頭	—	2019 年 9 月 29 日、福岡市早良区原団地の団地敷地内で、住民女性から「男性が子猫を虐待して逃走した」と通報があった。目撃された場所から数メートル離れた植え込みに、不審死した猫を発見した。 (2019/10/4 西日本新聞)

	事件発生年月日	事件発生場所	動物	主体	内容
29	2019/10/3	北海道札幌市	猫 1 頭	—	2019 年 10 月 3 日、札幌市東区の民家の庭で、頭部が切断された猫の死体が見つかった。 (2019/10/4 読売新聞)
30	2019/10/25	滋賀県長浜市	猫 1 頭	—	2019 年 10 月 25 日、長浜市八幡中山町の市立長浜北小学校で、切断された猫の下半身が見つかった。同小学校の敷地内外では 2013 年 2 月から今回を含め 9 回、切断された猫の死体が見つかっている。 (2019/10/26 朝日新聞・読売新聞・中日新聞)
31	2019/12/3,12/15	千葉県習志野市	猫 4 頭	—	2019 年 12 月 3 日と 12 月 15 日、習志野市の海浜公園で切り傷のようなものがある猫が各 1 頭死んでいた。12 月 4 日には別の 2 頭が死んでいるが、いずれも傷は見当たらなかった。 (2019/12/21 読売新聞・千葉日報)
32	2019/12/17	埼玉県富士見市	猫 1 頭	男性・40 歳	2019 年 12 月 17 日、東入間署は動物愛護管理法違反の疑いで男性 (40) を逮捕した。2019 年 7 月 16 日午後 9 時頃、富士見市内の ATM コーナー前で、生後約 3 か月の猫を地面にたたきつけ、殺した疑い。 2020 年 3 月 24 日、さいたま地検川越支部は男性を不起訴とした。理由を明らかにしていない。 (2019/12/18 読売新聞・埼玉新聞・2020/3/26 読売新聞)
33	2019/12 中旬	千葉県千葉市	猫複数頭	—	千葉市中央区の千葉ポートパークで、鉛弾のような塊が撃ち込まれけがをした猫が見つかった。2019 年 12 月中旬以降、けがをした猫 6 頭から鉛弾状の塊計 9 個が確認された。瀕死の猫 1 頭は推定 10 歳の雄で動物病院に運んだが回復困難で安楽死となった。 (2019/12/27 千葉日報)
34	2020/1/11,1/12	沖縄県沖縄市	猫 3 頭	—	2020 年 1 月 12 日、沖縄市の県総合運動公園で極度に弱っている猫 2 頭が見つかった。11 日夕にも 1 頭が見つかっており、3 頭のうち 2 頭は死亡した。血液検査の結果、肝臓の異常や嘔吐などの中毒症状は見られず、急性腎不全の症状があった。 (2020/1/14 沖縄タイムス)
35	2020/2/10～4/25	滋賀県彦根市	猫複数頭 ウサギ 1 匹	—	2020 年 2 月～4 月に彦根市で動物の死骸が複数見つかっている。 把握されている事案：2020 年 2 月 10 日、彦根市芹川町で、猫の上半身のみが見つかった。下半身は見つからない。3 月 7 日、彦根市芹川町の空き地で頭のない猫の死骸が見つかった。3 月 15 日、彦根市小泉町の民家駐車場で家主の男性が猫のような動物の切断された尻尾を見つけ、一旦はごみとして出したが、その後 17 日に警察署に届け出、署が回収した。また、4 月 21 日、彦根市芹川町の歩道で猫の死骸が見つかった。死骸は胸から下が切開され、内臓が出ている状態だった。4 月 25 日、彦根市芹川町の路上にウサギの頭部のみが見つかった。 (2020/2/10 京都新聞、2020/2/11 朝日新聞・読売新聞・中日新聞、2020/3/8 読売新聞・中日新聞、2020/3/9 朝日新聞、2020/3/18 朝日新聞・読売新聞・中日新聞、2020/4/22 読売新聞・中日新聞、2020/4/23 朝日新聞、2020/4/26 読売新聞・中日新聞)
36	2020/3/4	滋賀県甲良町	猫	—	2020 年 3 月 4 日、甲良町法養寺の町道で猫の尻尾が見つかった。 (2020/3/5 朝日新聞・読売新聞・中日新聞)
37	2020/3/9	滋賀県甲賀市	猫 1 頭	男性・54 歳	2020 年 3 月 9 日、甲賀市水口町山で、尻に矢が刺さった猫が見つかった。ボウガンの矢が 3 分の 1 ほど尻に突き刺さっていた。 2020 年 4 月 14 日、甲賀署は動物愛護管理法違反の疑いで男性 (54) を逮捕した。近隣の聞き込みやボウガン購入者の捜査などで容疑者が浮上した。2020 年 5 月 20 日、甲賀区検は男性を動物愛護管理法違反の罪で略式起訴し、甲賀簡裁は 29 日付で罰金 10 万円の略式命令を出した。 (2020/3/10 朝日新聞・読売新聞・中日新聞、2020/4/16 朝日新聞・読売新聞・中日新聞、2020/6/12 朝日新聞・読売新聞)
38	2020/4/3	滋賀県東近江市	猫 1 頭	—	2020 年 4 月 3 日、東近江市山路町で猫の死骸が見つかった。成体のオスで、胸と腹の間を切断されており、上半身はなかった。 (2020/4/4 読売新聞・中日新聞)
39	日付不詳	福岡県北九州市	犬 1 頭	—	北九州市小倉南区で散歩中の犬が路上に落ちていた青いペットフードのようなものを食べた直後に泡を吹いて死んだ。現場で見つかった青い物質を分析した結果「メソミル」が含まれていた。 (2020/6/14 西日本新聞)

事件発生年月日	事件発生場所	動物	主体	内容	
40	2020/5/31, 6 月上旬	大阪府泉佐野市	猫 2 頭	男性・30 歳	2020 年 6 月 3 日、泉佐野市の団地敷地内で猫の死骸が見つかり、体内から毒物が検出された。 2020 年 6 月 4 日、警察官が未明に付近を歩いていた男性（30）から任意で事情聴取を行った。 2020 年 7 月 13 日、大阪府警泉佐野署は動物愛護管理法違反の疑いで男性を逮捕した。逮捕容疑は 2020 年 5 月 31 日午後 10 時 55 分頃、泉佐野市の団地敷地内で猫 1 頭を地面にたたき付けて殺し、6 月上旬、別の猫 1 頭に毒物を与えて殺した疑い。 (2020/7/13 神戸新聞)
41	2020/6/18 ~ 26	沖縄県浦添市	猫 2 頭	—	2020 年 6 月 18 日から 26 日にかけて、浦添市伊祖で、野良猫 1 頭を死体で、1 頭を体調不良の状態で見つけた。死んだ猫の近くには青い粉が混入した牛乳が置かれていた。 (2020/7/1 沖縄タイムス)
42	2020/6/21	三重県四日市市	猫 1 頭	—	2020 年 6 月 21 日、四日市市小杉町の住宅街で、腹部などがぐり取られたようになっている猫の死骸が見つかった。 (2020/6/23 中日新聞)
43	2020/6/25	茨城県鹿嶋市	ウサギ 1 匹	—	2020 年 6 月 25 日、鹿嶋市宮中の市立中央図書館で、頭部と胴体が切り離されたウサギ 1 匹が見つかった。 (2020/6/27 朝日新聞・東京新聞)
44	2020/6 ~ 8	大阪府松原市	ハムスター ウサギ ウズラ モルモット	男性・33 歳	2020 年 6 月から 8 月、男性がペットの爬虫類に小動物を生きのまま捕食させた様子を YouTube に投稿した。小動物が逃げ、傷つけられる場面を動画内で繰り返し、スローモーションで強調されている場面もあり、動物愛護管理法に抵触するとして動物愛護団体が大阪府警に告発した。 2021 年 4 月 26 日、大阪府警は男性（33）を動物愛護管理法違反の疑いで書類送検した。 2021 年 6 月 18 日、大阪地検堺支部は男性を不起訴処分（嫌疑不十分）にした。「生餌を与えることは飼育の一環としてみる余地があり、動物をみだりに傷つけたかは疑問の余地がある」とした。 (2021/1/26 朝日新聞、2021/4/27 朝日新聞・読売新聞・産経新聞、2021/4/28 朝日新聞、2021/06/25 朝日新聞・読売新聞・産経新聞)
45	2020/8 頃	佐賀県有田町	猫 1 頭	—	猫の虐待事案が相次いだ西松浦郡有田町で、2020 年 5 月に傷を負った猫が確認された場所とは別の地域で、脚に針金が人為的に巻かれた黒猫が見つかった。針金は前と後ろの左脚に確認された。特に後脚は食い込んだ針金が骨にまで達し、7 月末に切断手術が施された。 (2020/8/10 佐賀新聞)
46	2020/9/6 ~ 10/19	滋賀県 野洲市・東近江市・大津市・米原市・守山市	猫 複数頭	—	2020 年 9 月 6 日、野洲市で、散歩から自宅に戻ってきた猫の背中に長さ約 15 センチの矢が刺さっているのを飼い主が見つけ、7 日に守山署に届け出た。 2020 年 9 月 14 日、東近江市ひばり丘町で、頭と尾を切断された猫 1 頭の死骸が見つかった。同日、大津市中庄の民家の駐車場に、死亡した灰色の猫 1 頭と、別の猫のものと思われる白色の足が二つ、灰色の尻尾一つが切断された状態で置かれていた。 2020 年 10 月 18 日、米原市顔戸で猫の死骸が見つかった。胴体、両後ろ脚、尾が切断された状態。 2020 年 10 月 19 日、守山市木浜町で頭部がない死骸が見つかった。腹部が鋭利なもので切り開かれていた。 (2020/9/9 朝日新聞、2020/9/14 京都新聞、2020/9/15 中日新聞、2020/9/16 中日新聞、2020/10/20 朝日新聞・中日新聞、2020/10/21 読売新聞・中日新聞)
47	2020/11/10	高知県南国市	犬 1 頭	男性・67 歳	2020 年 11 月 11 日、動物愛護管理法違反容疑で男性（67）が逮捕された。逮捕容疑は 2020 年 11 月 10 日午前 9 時頃から午後 1 時 30 分頃の間、高知県南国市内の畑で柴犬 1 頭を、首を絞めて殺した疑い。 畑の持ち主が杭につないで犬 3 頭を飼育。世話のため訪れると、男性が犬 1 頭の首にワイヤをかけてつり上げているのを見つけた。 (2020/11/12 読売新聞)
48	2020/11 中旬	宮崎県宮崎市	猫 4 頭	—	2020 年 11 月中旬、宮崎市の青島漁港で猫 4 頭が不審死した。毒殺された可能性が高い。2020 年 11 月 16 日、餌やりに来た住民が、4 頭が嘔吐してぐったりしているのを見つけた。 (2020/11/25 朝日新聞)

事件発生年月日	事件発生場所	動物	主体	内容
49	2020/11/23～2021/1/31	愛知県あま市	犬1頭 男性・55歳	2021年7月2日、津島署は動物愛護管理法違反（殺傷）の疑いで男性（55）を逮捕した。2020年11月23日～2021年1月末までの間、あま市内の経営する店舗で飼い主からしつけのため預かっていた犬の耳の縁を凍傷により欠けさせた疑い。尻尾を骨折するなどの怪我もしており、署は関連を調べている。 2022年12月7日、名古屋地裁は「適切な保護を行わなかったとは認められない」として無罪判決を言い渡した。求刑は罰金30万円だった。公判で検察側は、男性が従業員から犬のけがを報告されており、故意に治療を怠ったと主張。しかし判決では従業員は自身のミスで犬を骨折させたことを隠していた疑いがあり、「供述を全面的に信用することはできない」と指摘した。 (2021/7/3 中日新聞、2022/12/7 共同通信、2022/12/8 読売新聞・中日新聞・徳島新聞)
50	2020/11/24,12/9	滋賀県愛荘町	猫1頭 —	2020年11月24日、愛荘町で、切断された猫の右前脚が見つかった。 2020年12月9日、愛荘町で、頭部を切断された猫の死骸が見つかった。 (2020/11/25 中日新聞、2020/12/11 読売新聞・中日新聞)
51	2020/12 中旬	千葉県八千代市	猫複数頭 男性・40代	2021年6月22日、千葉県警は動物愛護管理法違反（殺傷）と銃刀法違反の疑いで40代の男性を逮捕した。逮捕容疑は2020年12月中旬頃、八千代市勝田台の駐車場付近で、空気銃で撃ち地域猫1頭を死なせた疑い。容疑者は県公安委員会から空気銃所持の許可を得ていたが、現場は許可区域外の住宅街だった。男性は「3年前から100頭近く猫を殺傷した」と供述し、空気銃で撃った以外に、捕獲した猫に熱湯をかけたこともあるとしていた。 2021年8月4日、千葉地検は銃刀法違反と別の猫への動物愛護管理法違反の罪で追起訴した。 2021年11月8日、千葉地裁は男性に対し、懲役1年6月、執行猶予3年（求刑・懲役1年6月）の判決を言い渡した。 (判決については「判例の一覧（25ページ）」の5番を参照) (2021/6/22 朝日新聞・読売新聞・毎日新聞、2021/6/23 東京新聞、2021/7/15 産経新聞・東京新聞、2021/8/5 産経新聞、2021/10/27 東京新聞、2021/11/8 毎日新聞・産経新聞・東京新聞、2021/11/9 毎日新聞・東京新聞・岩手日報)
52	2021/2 上旬	宮崎県新富町	猫1頭 —	2021年2月上旬、新富町日置でボウガン用と見られる矢が首に刺さった猫が発見された。2020年末には矢が後肢を貫通した猫が3頭発見されていた。 (2021/3/14 宮崎日日新聞)
53	2021/2/16	広島県尾道市	猫1頭 男性・26歳	2021年2月18日に牛刀をもって市内の交番を訪れ、銃刀法違反の疑いで逮捕された男性（26）が、その後の捜査で2月16日に尾道市内で猫を牛刀で傷つけていたとして動物愛護管理法違反の疑いで再逮捕された。3月19日、尾道区検は男性を略式起訴した。 (2021/3/20 中国新聞)
54	2021/3	愛知県名古屋市	猫11頭 —	2021年3月、名古屋市名東区の猪高緑地で猫の死骸11頭が相次いで見つかった。近くの住民が猫の死骸が池に浮いているのを見出し、付近を調べたところ池周囲で猫の死骸を発見した。いずれも目立った外傷はなかったが、死後しばらく経っていた。 (2021/3/12 中日新聞、2021/3/13 中日新聞)
55	2021/4/5	東京都三鷹市	猫1頭 —	2021年4月5日、三鷹市で鼻に釘が刺さった猫が発見された。釘は先端がL字形に曲げられていた。 (2021/4/14 朝日新聞)
56	2021/5/8～11	東京都大田区	猫3頭 —	2021年5月8～11日、大田区内にある「平和の森公園」内で猫3頭の死骸が見つかった。8日に池で、10日に公衆トイレの屋根で死骸が発見された。11日に池の近くで見つかった死骸は首にロープが巻かれ木につるされていた。 (2021/5/19 読売新聞・毎日新聞・産経新聞・東京新聞、2021/5/20 朝日新聞)
57	2021/5/14	兵庫県神戸市	猫1頭 —	2021年5月14日、神戸市のマンション敷地内で、刃物で切られたとみられる切断された猫の足4本と尻尾が見つかった。 (2021/5/15 神戸新聞)

	事件発生年月日	事件発生場所	動物	主体	内容
58	2021/5/28～12/3	沖縄県名護市	猫複数頭	—	2021年5月～12月に名護市で猫の死骸が複数見つかった。把握されている事案：2021年5月28日、名護市城の市街地駐車場で子猫2頭の死骸が見つかった。1頭は頭部の片側が潰れ、もう1頭は頭部両側が潰れた状態で遺棄されていた。2021年8月12日、頭部が損傷した子猫1頭。8月17日から18日、吐血した猫計2頭。目立った外傷はなく、毒物を盛られた可能性もある。9月2日、子猫1頭。9月21日までに猫2頭。11月18日、子猫1頭。12月3日、子猫2頭。 (2021/5/31 沖縄タイムス、2021/8/13 琉球新報・沖縄タイムス、2021/8/19 琉球新報、2021/9/5 琉球新報、2021/9/22 琉球新報、2021/10/1 沖縄タイムス、2021/10/5 琉球新報、2021/11/19 琉球新報・沖縄タイムス、2021/12/4 琉球新聞・沖縄タイムス)
59	2021/6/18	茨城県日立市	猫複数頭	—	2021年6月18日、日立市かみね公園で2頭の猫が保護され、獣医師の診察を受けた。このうち1頭が同22日に死んだ。他に1頭が療養しており、血液検査の結果3頭とも腎臓機能障害があり、毒物を与えられた可能性が高いとしている。5月以降、公園から猫2頭が居なくなり、1頭が急死した。18年秋には8頭が突然姿を消した。 (2021/8/4 茨城新聞・東京新聞、2021/8/17 東京新聞)
60	2021/8/27～31	長野県松本市	犬5頭	男性	劣悪な環境で多数の犬を飼育して虐待したとされる事件(②虐待(19ページ)の事例53を参照)の被告に対し、2022年4月8日、長野県警は動物愛護管理法違反(殺傷・虐待)容疑で地検松本支部に書類送検した。2021年8月27～31日、獣医師免許を所持していないにも関わらず麻酔をせずに5頭の犬の帝王切開を行った容疑。 2022年8月9日、長野地検松本支部は動物愛護管理法違反(殺傷)と狂犬病予防法違反で長野地裁松本支部に追起訴した。 (2022/4/9 朝日新聞・読売新聞・中日新聞、2022/8/9 NHK・長野放送、2022/8/10 朝日新聞・読売新聞・中日新聞)
61	2021/9以降	沖縄県中頭郡	猫複数頭	—	2021年9月以降、北谷町の北谷公園やアラハビーチの周辺で、野良猫の不審死が少なくとも6件判明している。 (2021/9/19 琉球新報)
62	2021/9/28	愛知県大治町	猫1匹	男性	2021年11月18日、名古屋・中署は、動物愛護管理法違反の疑いで男性を逮捕した。2021年9月28日、交際相手の飼い猫を壁にたたきつけたり、椅子に押し付けたりする暴行を加え、肺挫傷や足の骨折などの大けがを負わせた疑い。 2021年12月9日、名古屋地検は男性を不起訴処分とした。処分理由は明らかにしていない。 (2021/11/19 中日新聞、2021/12/10 中日新聞)
63	2021/10以降	愛知県安城市	猫20頭以上	—	2021年10月以降、安城市大山町の秋葉公園周辺で猫の不審死が相次いでおり、これまでに少なくとも20頭が死んでいるのが見つかった。不審物などは見つかっておらず、死因は特定されていない。 (2022/6/22 中日新聞)
64	2021/10/23	茨城県常総市	猫1頭	男性・36歳	2021年12月13日、下妻区検は動物愛護管理法違反(殺傷)の罪で男性(36)を下妻簡裁に略式起訴した。10月23日午前6時半頃、数人で同居していた自宅アパート1階のベランダにワイヤでわなを仕掛け、猫1頭をつるすなどして殺したとされる容疑。 (2021/12/15 茨城新聞)
65	2021/10/25	兵庫県丹波市	猫1頭	—	2021年10月25日、丹波市柏原町南多田の柏原中学校で、頭部のない猫の死骸が発見された。 (2021/10/27 神戸新聞)
66	2021/12/5	千葉県市川市	猫6頭	—	2021年12月5日、市川市大洲の江戸川河川敷で猫6頭の死骸が見つかった。いずれも体が鋭利なもので切り裂かれた状態で、箱の上に並べられたり、壁に打ち付けられたりしたような痕もあった。 市川市内では2018年5月には大洲地区で三毛猫の皮が、同年6月にはJR市川駅周辺で子猫の死体などが見つかった。 (2021/12/21 河北新報・千葉日報、2021/12/22 朝日新聞・読売新聞・東京新聞、2022/2/2 神戸新聞)

	事件発生年月日	事件発生場所	動物	主体	内容
67	2022/1/25	愛知県豊田市	犬1頭	男性・45歳	2022年2月5日、豊田署は男性(45)を動物愛護管理法違反(殺傷)の疑いで逮捕した。逮捕容疑は、1月25日夜、当時住んでいた自宅で、飼っていた犬1頭を床や壁に何度も投げ付け、脳や脊髄に損傷を与えて殺した疑い。 2022年3月29日、名古屋地裁岡崎支部は求刑通り罰金30万円を言い渡した。 (判決については「判例の一覧(25ページ)」の6番を参照) (2022/2/6 読売新聞・中日新聞、2022/3/29 朝日新聞)
68	2022/2/2	滋賀県大津市	猫1頭	男性・53歳	2022年2月3日、大津北署は動物愛護管理法違反の疑いで男性(53)を逮捕した。逮捕容疑は、2月2日午前7時半から午後3時頃までの間、自宅で飼い猫1頭に包丁を十数回突き刺し、殺した容疑。 2022年2月22日、大津区検は同法違反の罪で略式起訴した。同日、大津簡裁は罰金30万円の略式命令を出した。 (2022/2/4 読売新聞・中日新聞、2022/2/23 中日新聞)
69	2022/3/29	青森県青森市	犬1頭	男性・71歳 女性・60歳	2022年4月19日、青森署などは動物愛護管理法違反(殺傷)の疑いで男性(71)、内縁の妻(60)を逮捕した。逮捕容疑は3月29日午後、容疑者宅で柴犬の腹を包丁で刺し、内臓の一部をハサミで切った疑い。柴犬はその後死んだ。 (2022/4/20 読売新聞)
70	2022/4/5	滋賀県栗東市	猫1頭	—	2022年4月5日、栗東市内の事業所の駐車場で、胴体部分で切断された猫の死体が見つかった。死体には上半身がなかった。 (2022/4/6 読売新聞・中日新聞)
71	2022/4/29	熊本県荒尾市	犬1頭	男性・37歳	2022年4月29日、荒尾市の住宅街で庭の犬がハンマーのようなもので殴られるのを飼い主が目撃した。 警察は庭に侵入し犬をハンマーのようなもので殴ったとして、動物愛護管理法違反などの疑いで、近くに住む男性(37)を逮捕した。 (2022/5/10 熊本放送)
72	2022/4以降	神奈川県横浜市・座間市・相模原市・横須賀市	犬	—	カッターナイフの刃やくぎ、針が差し込まれたドッグフードなどが神奈川県内各地の路上で相次いで発見された。 2022年6月27日夜、座間市の路上に置いてあったペットフードを食べた飼い犬が、混入していた針でけがをする事案が発生した。 把握されている事案:2022年4月・横浜市金沢区・釘が刺さったペットフード3個/6月20~21日・横浜市金沢区・針が刺さったペットフード計3個/6月27日・横浜市金沢区・まち針が刺さったペットフード2個/6月30日・横浜市磯子区・まち針が刺さったペットフード2個/6月27日・座間市/6月30日・横浜市栄区の2か所・針が刺さっていたペットフード6個/7月1日・相模原市中央区/11月4日・横浜市磯子区・くぎ/11月5日・横浜市金沢区・くぎ/11月9日・横浜市磯子区・くぎ/11月24日・横浜市金沢区・カッターナイフの刃/11月・横須賀市 (2022/6/29 毎日新聞・神奈川新聞、2022/7/1 朝日新聞・読売新聞・神奈川新聞、2022/7/2 NHK、2022/7/20 毎日新聞、2022/11/28 神奈川新聞、2022/12/4 朝日新聞)
73	2022/6/23~27頃 他	不詳	猫5頭	男性・42歳	2022年8月3日、京都府警生活保安課と北署は、動物愛護管理法違反の疑いで男性(42)を逮捕した。逮捕容疑は6月23~27日頃の間、不詳の場所で、メスの猫1頭を何らかの方法で殺害した疑い。男性は6月19日に京都市内のペットショップにて約20万円で猫を購入し、同23日、手足の爪が切断された猫を連れ動物病院を受診した。その後、「猫が死んだ。診断書を書いてほしい」と依頼してきた点を不審に思った獣医師が北署に相談した。ペットショップには保証制度に基づいて別の猫を渡すよう求め断られていた。 2022年8月24日、京都府警生活保安課と北署は男性を再逮捕した。逮捕容疑は6月25日~7月23日、メスの猫1頭を何らかの方法で殺害した疑い。男性は6月25日に猫を約24万円で購入していた。自宅を捜索した際に冷凍庫から猫の死骸が見つかった。 2022年9月20日、京都府警生活保安課と北署は男性を再逮捕した。逮捕は3回目。再逮捕容疑は6月30日~8月3日、アメリカンショートヘアなどの猫3頭に対し、爪を深く切って出血させたほか、尻尾を脱臼させたり、ひげを切断したりして傷つけた疑い。 (2022/8/4 京都新聞、2022/8/5 読売新聞、2022/8/24 京都新聞、2022/9/20 京都新聞)

	事件発生年月日	事件発生場所	動物	主体	内容
74	2022/7/16	栃木県小山市	ハト 1羽	—	2022年7月16日、JR小山駅前付近で、頭部付近に吹き矢の矢のようなもの（長さ約11センチ）が刺さったハト1羽が見つかった。動物愛護管理法違反容疑で捜査している。 (2022/7/17 読売新聞・下野新聞)
75	2022/7/9～10	高知県高知市	犬2頭	—	2022年7月9日～10日、高知市長浜で犬2頭が相次いで不審死した。2頭が急死する直前に通った道端に液状の物体が置かれており、毒物の可能性がある。 (2022/7/27 高知新聞)
76	2022/9/1	宮城県大和町	猫1頭	—	2022年9月1日、大和町吉岡のアパートの駐車場で頭部のない猫の死骸が見つかった。一部で腐敗が進んでいた。 2022年に入ってから宮城県大郷町でも頭部のない猫の死骸が2体見つかり関連を調べている。 (2022/9/2 河北新報・khb東日本放送)
77	2022/1/14, 4/27	大阪府和泉市	猫2頭	男性・21歳	2022年10月5日、大阪府警は動物愛護管理法違反の疑いで男性(21)を書類送検したことを発表した。1月14日、和泉市の集合住宅で、生後半年のエキゾチックショートヘアを殴り頭にケガを負わせ、4月27日には生後3か月のラグドールの胸を殴り死なせた疑い。エキゾチックショートヘアは暴行の約3週間後に死んだ。府警は起訴を求める「厳重処分」の意見を付けた。子猫は火葬されていたことから、任意聴取や治療記録から容疑を裏付けた。 2022年12月20日、大阪地裁で公判が開かれ、検察側は懲役1年を求刑し即日結審した。 (2022/10/5 ABCニュース、2022/10/6 朝日新聞・読売新聞・産経新聞・中国新聞・宮崎日日新聞・沖縄タイムス・東京スポーツ、2022/12/21 東京スポーツ)
78	2022/10/17	長崎県大村市	猫4頭	—	2022年10月17日、大村市杭出津の住宅街で、耳の一部が切り取られた子猫4頭が見つかった。18日に猫を診察した病院が虐待の可能性があると保健所に連絡した。 子猫4頭はいずれも耳の先が切除されているほか、2頭は首にグリーンの細い網のようなものも巻き付いていた。 (2022/10/19 NHK、2022/10/20 読売新聞・京都新聞・中国新聞・西日本新聞・佐賀新聞・熊本日日新聞)
79	2022/11/16	埼玉県さいたま市	猫3頭	—	2022年11月16日、さいたま市岩槻区城南の集合住宅駐車場で猫3頭の死骸を見つけた。1頭には目立った外傷はないが、2頭はいずれも顔から出血していた。 (2022/11/17 埼玉新聞、2022/11/19 東京新聞)
80	2022/11下旬～12中旬	栃木県宇都宮市	猫9頭	—	2022年11月下旬から12月中旬にかけて、宇都宮市東浦町の民家周辺などで猫9頭が相次いで不審死していた。いずれも外傷はなく、毒物を食べた可能性もある。 2022年12月16日、近隣で保護した子猫1頭が重度の腎不全と診断され、エチレングリコールなどによる中毒の可能性が高いとされた。 (2022/12/15 NHK、2022/12/16 産経新聞・TBS)
81	2022/12	宮城県仙台市青葉区花壇地区	猫3頭	—	2022年12月、仙台市青葉区花壇地区で猫3頭が相次いで不審死した。いずれも口から血を吐いて倒れていて、うち1頭の体内から毒性が強い成分が検出された。 (2022/12/11 河北新報)
82	2022/12/19, 12/30	滋賀県草津市	猫2頭	—	2022年12月19日、草津市矢橋町の住宅敷地で、体の一部が切られた猫の死骸が見つかった。 2022年12月30日、19日に死骸が発見された地域から約5キロの同市矢橋町草津市川原で、猫の死骸が見つかった。 (2022/12/21 読売新聞・中日新聞・京都新聞、2022/12/31 朝日新聞・読売新聞・中日新聞・京都新聞)

② 虐待

	事件発生年月日	事件発生場所	動物	主体	内容
1	2010年頃以降	大阪府泉佐野市	犬 複数頭	男性 (元府警察官)	2021年10月2日、大阪府警が元府警察官の男性宅を傷害容疑で家宅捜索したところ、劣悪な環境で数十頭の犬が放し飼いにされていた。夏場にはハエがわくなど不衛生な状況だった。 2021年11月4日、府警生活環境課と泉佐野署は動物愛護管理法違反(虐待)容疑で、男性宅を家宅捜索した。犬の健康状態や飼育状況などを調べ、立件の可否を慎重に検討する方針。 (2021/10/2 産経新聞、2021/11/4 産経新聞)
2	2010年頃以降	秋田県藤里町	犬約 140頭	女性・60歳	2022年3月1日、秋田県警は動物愛護管理法の疑いで女性(60)を逮捕した。2月下旬に自宅とみられる住宅で、犬11頭を劣悪な環境で飼った疑い。 最初の通報は2010年5月で、犬が放し飼いで敷地外に出ているというものだった。県は12年度から2022年2月7日までの間、付近でつながない計141頭の犬を保護していた。 2022年3月22日、秋田区検は動物愛護管理法違反の罪で、女性を略式起訴した。秋田簡裁は同日、罰金20万円の略式命令を出した。 (2022/2/25 秋田魁新報、2022/3/1 秋田魁新報、2022/3/2 朝日新聞・読売新聞、2022/3/6 秋田魁新報、2022/3/23 朝日新聞・読売新聞・秋田魁新報)
3	2015年頃以降	千葉県松戸市	犬 18頭	男性・54歳	2022年6月14日、松戸署は動物愛護管理法違反容疑(虐待)で男性(54)を逮捕し、15日に千葉地検松戸支部に送致した。2022年4月26日、千葉県松戸市の住宅で犬18頭を不衛生な環境で飼育し、虐待した疑い。 2015年に近隣住民から「犬が脱走している」との苦情があって以降、保健所が年間2、3回指導を実施。20年後半からは立ち入り調査や改善指導をしてきた。 2022年6月24日、松戸区検は男性を略式起訴した。同日、松戸簡裁は罰金10万円の略式命令を出した。 (2022/6/16 朝日新聞・読売新聞・千葉日報、2022/6/25 読売新聞)
4	2015/12/10 ～2016/2/1	栃木県矢板市	犬と猫 19頭	男性・62歳	2018年7月31日、宇都宮地検は大田原検察審査会から「不起訴不当」の議決を受け、動物愛護管理法違反(虐待)の疑いで再捜査していた矢板市の元動物取扱業の無職男性(62)について、改めて不起訴とした。 (平成30年度報告書 II新聞事例 ②虐待 事例6に掲載) (2018/8/3 読売新聞)
5	2016/5～6	茨城県水戸市	犬と猫 複数頭	男性・55歳 (NPO法人の 元理事長)	2018年8月15日、水戸署は動物愛護管理法違反(虐待)の疑いでNPO法人の元理事長(55)を水戸地検に書類送検した。元理事長は理事長を務めていた2016年5～6月、水戸市内の動物保護施設で猫の尾をつかんで柵から引き落とすなど虐待した。2017年12月、動画を入手した環境保護団体が茨城県警に告発した。 2018年8月20日、茨城県がNPO法人に立ち入り検査を実施した。21日には「今後、動物保護活動を行わない」旨の誓約書が提出され、事業を休止、2018年9月11日に解散届を茨城県に提出した。 2018年10月16日、水戸区検は男性を動物愛護管理法違反(虐待)で略式起訴した。 (2018/8/23 東京新聞、2018/8/25 読売新聞、2018/9/11 読売新聞、2018/9/15 朝日新聞、2018/10/17 朝日新聞、2018/10/19 読売新聞)
6	2017/3～ 2019/7頃	岐阜県岐阜市	犬 31頭	男性・65歳	2019年7月10日、市保健所から「犬を31頭飼育する家から異臭がする」と岐阜中署に連絡があり、立ち入ったところ、6頭の死骸が発見され、一部は白骨化していた。31頭は栄養不良で痩せていた。 2019年7月19日、岐阜中署は動物愛護管理法違反(虐待)の疑いで男性(65)を岐阜地検に書類送検した。2017年3月～2019年7月頃、自宅で犬の排せつ物を放置するなど不衛生な環境で飼った犬31頭を飼育し、虐待した疑い。 (2019/9/20 朝日新聞・中日新聞、2019/9/21 読売新聞)
7	2017/10頃	北海道札幌市	猫 14頭	夫婦・40代	2018年3月30日、札幌区検は動物愛護管理法違反(虐待)で40代夫婦を札幌簡裁に略式起訴した。2017年10月、所有する民家で排せつ物を放置した状態で猫14頭を飼育し、虐待した疑い。 2018年4月5日、札幌簡裁は夫婦にそれぞれ罰金10万円の略式命令を出した。 (2018/5/31 読売新聞)

	事件発生年月日	事件発生場所	動物	主体	内容
8	2017/11～2018/1	広島県 神石高原町	犬	男性・52歳 (NPO法人の代表理事) 女性・47歳 (NPO法人元職員)	2019年6月4日、県警生活環境課と福山北署は動物愛護管理法違反の容疑でNPO法人の代表理事の男性(52)と元職員の女性(47)、同法人を福山区検に書類送検した。2017年11月～2018年1月、法人の施設で飼っている犬を過密状態で収容、犬同士のけんかなどで2頭を死なせた疑い。2019年9月5日、福山区検は、動物愛護管理法違反容疑で書類送検された法人と男性役員ら2人を不起訴とした。「送致事実を認定するに足りる十分な証拠がないため」としている。 (2019/6/5 朝日新聞、2019/9/6 朝日新聞、2019/9/7 読売新聞)
9	2018/2 上旬～5月17日	山形県南陽市	猫1頭	女性・20代	2018年10月19日、南陽署は動物愛護管理法違反(虐待)容疑で女性を赤湯区検に書類送検した。2018年2月上旬～5月17日、自宅アパートで飼っていたメス猫1頭にエサや水を十分に与えず、排せつ物がたまっていた状態で飼育した疑い。メス猫は保護されたが、ほかの猫3頭が死んでいた。2018年12月25日、赤湯簡裁は動物愛護管理法違反(虐待)で罰金10万円の略式命令を出した。 (2018/10/21 読売新聞、2018/12/27 山形新聞、2018/12/29 読売新聞)
10	2018/2/15	千葉県船橋市	犬1頭	男性・53歳	2018年5月16日、船橋東署は動物愛護管理法違反の疑いで男性(53)を書類送検した。2月15日夜、自宅で飼育していた犬1頭の顔に布製の粘着テープを3、4回巻きつけて右目周辺を傷付け炎症させた疑い。2月16日朝に公園で頭部に粘着テープが巻かれた犬が1頭で歩いているのを近くの男性が見付け通報した。 (2018/5/17 千葉日報)
11	2018/5	大阪府枚方市	アライグマ1頭	男性・41歳	2018年10月5日、大阪府警交野署は動物愛護管理法違反容疑で男性を書類送検した。2018年5月、大阪府枚方市の建築資材置き場でアライグマを籠ごとフォークリフトでつるすなどの虐待をした容疑。アライグマは2018年4月中旬頃に大工仲間の男性が捕獲、大工仲間の男性も外来生物法違反容疑などで書類送検した。赤い塗料を塗られたアライグマの画像がWeb上に拡散しているとの情報提供があり、男性に事情を聴いていた。 (2018/10/6 産経新聞・毎日新聞)
12	2018/8/4,8/10	沖縄県恩納村	猫3頭	—	2018年8月4日午後、恩納村宇加地の海岸で近隣住民により脚をゴムテープや輪ゴムで縛られ、先が壊死(えし)した状態の猫2頭が見つかった。8月10日、同じ海岸で1頭を保護した。 (2018/8/21 沖縄タイムス)
13	2018/9/16	熊本県熊本市	馬	3団体の12人	2018年9月16日に行われた藤崎八幡宮の秋季例大祭「神幸行列」で、飾り馬がむちでたたかかれている動画が撮影され拡散した。見せ場をつくるために馬の体をたたくなどして興奮させることがあり、かねて動物愛護団体などが批判してきた。学校の敷地のような場所で法被姿の男性が馬の尻を何度もむちでたたく様子が映っている。男性がむちを振る度に馬が痛がるように逃げて脚を跳ね上げ、最後に男性の笑い声が聞こえる。2018年10月17～18日、市動物愛護センターは2団体に事情を聴き、適正な取り扱いをするよう指導した。2018年10月24日、奉納団体を取りまとめる「藤崎八幡宮飾り馬奉納団体奉賛会」は総会で参加者に研修を義務づける方針を伝えた。2019年2月22日、熊本県警は祭りに参加した3団体の20～40代の男性12人を熊本地検に書類送付した。刑事責任を問うのは難しいとする意見を付けた。動画の解析や参加者らへの聞き取りから、むちで打つ行為は馬の扱いに必要で、馬がけがをしていないことなどを考慮し、虐待行為の認定は困難と判断したとみられる。2019年4月8日、熊本地検は3団体の12人を不起訴処分とした。「起訴するに足りる十分な証拠がなかった」とした。 (2018/10/5 毎日新聞、2018/10/24 読売新聞、2018/10/26 朝日新聞・毎日新聞・日本経済新聞、2018/10/27 読売新聞、2019/2/23 朝日新聞・読売新聞・日本経済新聞、2019/4/11 読売新聞、2019/4/12 朝日新聞、2019/4/13 日本経済新聞)
14	2018/9 頃	滋賀県甲賀市	クサガメとニホンイシガメ複数匹、フトアゴヒゲトカゲ1匹	男性・36歳	2020年11月24日、浜松中央署は動物愛護管理法違反の疑いで男性(36)を逮捕した。逮捕容疑は2018年9月～2020年3月頃、販売目的で飼育していたクサガメ、ニホンイシガメ40匹以上と、フトアゴヒゲトカゲ1匹を衰弱死させる虐待をした疑い。 (2020/11/25 中日新聞)

事件発生年月日	事件発生場所	動物	主体	内容
15	2018/10 頃	茨城県古河市	犬と猫計約100頭 男性・63歳 (NPO法人)	茨城県古河市にある民間の動物保護施設で、犬や猫計約100頭が、排せつ物が床にたまった不衛生な環境で飼育されていた。県動物指導センターが2018年10月に立ち入り調査を実施、12月に改善勧告を出したが状況が変わらず、2019年2月に改善命令を出した。施設を運営するNPO法人は動物愛護管理法上、非営利での保管や譲渡を目的とする「第2種動物取扱業」に該当していた。 2019年5月13日、愛護団体がNPO法人を古河署に刑事告発し、受理された。 2019年8月16日、茨城県警が動物愛護管理法違反の疑いでNPO法人と代表理事の60代の男性を水戸地検下妻支部に書類送検した。 2019年12月27日、古河区検は代表者の男性(63)を動物愛護管理法違反などの罪で略式起訴した。2019年5月17～23日、猫の排泄物が堆積した場所で、猫8頭を飼育し、動物を虐待したとされる。 (2019/3/27 東京新聞、2019/4/2 日本経済新聞・信濃毎日新聞、2019/4/7 茨城新聞、2019/4/18 共同通信、2019/4/19 東京新聞・茨城新聞・宮崎日日新聞、2019/5/13 共同通信、2019/5/14 中日新聞、茨城新聞、2019/5/15 東京新聞、2019/5/17 朝日新聞、2019/8/28 朝日新聞、2019/8/30 東京新聞、2019/8/31 読売新聞、2019/12/29 朝日新聞)
16	2018/12/10、 2019/1/20	福島県須賀川市	猫2頭 男性・31歳	2019年2月4日、須賀川署は動物愛護管理法違反の疑いで男性(31)を逮捕した。逮捕容疑は2018年12月10日午前8時半頃と2019年1月20日午後3時50分頃、同市内でそれぞれ別の野良猫の尻尾をつかみ、用水路に投げ入れて虐待した疑い。 虐待の様子を撮影し動画投稿サイトに投稿。動画を見た人から通報があり発覚した。 (2019/2/4 時事通信、2019/2/5 朝日新聞・読売新聞・日刊スポーツ)
17	2019/2/25～ 3/8	神奈川県三浦市	ヤギ複数頭 男性・39歳	2019年10月9日、三崎署は動物愛護管理法違反(虐待)の疑いで男性(39)を逮捕した。逮捕容疑は、2019年2月25日頃から3月8日頃までの間、三浦市初声町和田の敷地内に複数のヤギの死骸を放置したままで他の愛護動物を飼育し、虐待した容疑。 2019年2月に県鎌倉保健福祉事務所が敷地内に2頭のヤギの死骸が放置されているのを発見し指導、9月に三崎署に告発していた。 (2019/10/10 神奈川新聞)
18	2019/3 上旬 ～4 上旬	山口県下関市	猫複数頭 —	2019年3月上旬から4月上旬にかけて、下関市本町で皮膚がはがれた状態の猫が相次いで見つかった。人為的にけがを負わされたのか確定はしていないが、虐待を受けた可能性もある。 (2019/4/7 読売新聞、2019/4/10 毎日新聞、2019/4/16 朝日新聞、2019/5/14 毎日新聞)
19	2019/4/12	東京都葛飾区	猫1頭 男性・26歳	2021年1月18日、綾瀬署は動物愛護管理法違反容疑で男性(26)を逮捕した。2019年4月12日に自宅アパートの風呂場で、猫の首を絞めたり耳や脚を引っ張ったりした疑い。 (2021/1/19 読売新聞)
20	2019/4/24	岐阜県岐阜市	猫1頭 男性・41歳	猫を投げたり、たたいたりする様子を撮影した動画がSNS上で拡散、2019年4月24日までに約50件の通報があった。 2019年4月24日、岐阜県警はWeb上に動画を投稿した男性(41)の自宅を、動物愛護管理法違反の疑いで自宅捜索した。 2019年7月8日、県警生活環境課と岐阜北署は男性(41)を動物愛護管理法違反の疑いで岐阜地検に書類送検した。 2019年9月9日、岐阜地検は不起訴処分とした。地検は理由を明らかにしていない。 (2019/4/25 朝日新聞・読売新聞・中日新聞・東京新聞、2019/7/9 朝日新聞・読売新聞・中日新聞、2019/9/11 朝日新聞・読売新聞・中日新聞)
21	2019/6	岩手県遠野市	馬1頭 男性・60代	遠野市で2019年6月に開かれた「東北馬力大会 馬の里遠野大会」で、金属が付いた手綱で馬の顔などをたたいたとして、2022年5月13日に遠野署は60歳代男性を盛岡地検に書類送検した。 2022年5月25日、盛岡地検は不起訴とした。「犯行の状況などを考慮した」としている。 (2022/5/17 読売新聞、2022/5/23 河北新報・東奥日報・秋田魁新報・下野新聞・愛媛新聞・四国新聞、2022/5/24 中国新聞・沖縄タイムス、2022/5/28 読売新聞・河北新報)

事件発生年月日	事件発生場所	動物	主体	内容
22	2019/6/22	愛知県名古屋市	インコ 1羽 男性・34歳	<p>2019年7月18日、愛知県警は男性(34)を動物愛護管理法違反(虐待)の疑いで逮捕した。6月22日ごろ、自宅でインコ1羽にコンドームをかぶせて身動きがとれないようにした上で、ライターでつついたり、ベッドや床に放り投げたりして虐待した疑い。虐待の様子を動画で撮影し、SNSで公開していた。</p> <p>2019年7月26日、名古屋区検は男性を動物愛護管理法違反(虐待)で名古屋簡裁に起訴した。</p> <p>2019年9月11日、名古屋簡裁で初公判が行われ、男性は起訴事実を認めた。</p> <p>2019年10月9日、名古屋簡裁で行われた公判で、検察側は罰金20万円を求刑、弁護側は寛大な判決を求めて結審した。</p> <p>2019年10月18日、名古屋簡裁は求刑通り罰金20万円を言い渡した。 (判決については「判例の一覧(25ページ)」の2番を参照)</p> <p>(2019/7/18 時事通信、2019/7/19 朝日新聞・読売新聞・中日新聞・静岡新聞、2019/7/27 読売新聞、2019/9/12 読売新聞、2019/10/10 読売新聞、2019/10/18 中日新聞・静岡新聞、2019/10/19 朝日新聞・読売新聞・中日新聞)</p>
23	2019/6 下旬 ～7 月上旬	東京都府中市	犬と猫 複数頭 男性・55歳 (動物販売業者)	<p>2020年3月4日、警視庁は動物愛護管理法違反(虐待)の疑いで男性(55)を逮捕した。2019年6月下旬～7月上旬、経営する店舗内などで飼っていた犬2頭の巻き爪を放置し、昭島市内の実家で飼っていた犬9頭を排せつ物が堆積した不衛生な環境で飼育し、虐待した容疑。</p> <p>2019年7月に熱中症の疑いで猫7頭とコリー犬など31頭が死亡、死骸の処分を依頼された清掃センターが八王子署に連絡し発覚した。2020年2月中旬に店舗などを捜索し40頭の犬を保護した。うち21頭は、狂犬病の予防接種を受けておらず、高齢で売り物にならない犬は週1回エサと水を与えるだけだった。店は2007年1月に開業。2008年9月以降計5回、法定基準を超える頭数の飼育等について都動物愛護相談センターから指導されていた。</p> <p>(2020/3/6 時事通信・東京新聞、2020/3/7 朝日新聞・読売新聞)</p>
24	日付不詳	宮城県気仙沼市	猫 複数頭 女性・50代	<p>宮城県気仙沼市唐桑町の災害公営住宅を不法に占拠し、猫を十数頭飼育している埼玉県内の50代女性に対し、気仙沼市は2019年4月11日にあった市議会震災調査特別委員会で、明け渡しを求めて強制執行の手続きに入る方針を示し、4月25日に退去を求める公示書を貼った。仙台地裁気仙沼支部の執行官の判断で猫14頭が保護された。</p> <p>(2019/4/12 河北新報、2019/4/26 河北新報)</p>
25	2019/7/15 頃	千葉県松戸市	犬1頭 女性 (ブリーダー)	<p>交配のため預けた飼い犬が虐待を受け死んだとして、民事訴訟で虐待が認定された夫婦が預けたブリーダーの女性を刑事告訴した。</p> <p>2019年7月7日、夫婦は女性に犬を預けたが8日後に死んだ。死因は気管に餌を詰まらせた窒息死で、死体鑑定書には「虐待を強く示唆するものではない」との意見が付され女性も虐待を否定した。</p> <p>夫婦は2020年4月に女性に損害賠償を求める民事訴訟を提起。2021年8月、東京地裁は、犬は虐待を受けて死んだと結論付け、計66万円の賠償を命じる判決を言い渡した(事件番号:令2(ワ)0675号)。判決を受け夫婦は、動物愛護管理法違反容疑で女性を刑事告訴した。</p> <p>2022年4月8日、秋田地検は女性を不起訴処分とした。「証拠関係などを踏まえて判断した」として詳細は明らかにしていない。</p> <p>(2022/2/16 河北新報、2022/2/17 秋田魁新報、2022/4/13 秋田魁新報)</p>
26	2019/9 頃	栃木県宇都宮市	犬 73頭 男性・73歳	<p>2020年1月21日、宇都宮中央署は動物愛護管理法違反(虐待)の容疑で男性(73)を逮捕した。逮捕容疑は2019年9月に自宅で他の犬にかまれるなどして負傷した犬を適切に保護せず、衰弱させ虐待した疑い。自宅からは73頭の犬が見つかった。同署では相次ぐ苦情を受け、指導を重ねてきたが、改善されなかった。</p> <p>2020年3月30日、宇都宮地検は男性を不起訴処分とした。</p> <p>(2020/1/22 朝日新聞・読売新聞、2020/2/13 朝日新聞、2020/4/1 下野新聞)</p>

	事件発生年月日	事件発生場所	動物	主体	内容
27	日付不詳	栃木県足利市	猫 37頭	男性・58歳	2019年11月28日、足利署は動物愛護管理法違反(虐待)の疑いで男性(58)を逮捕した。自宅で猫数十頭の死体を放置したままの劣悪な環境で猫37頭を飼育し、虐待した疑い。県動物愛護指導センターが指導のため、何度か立ち入ろうとしたが、容疑者が断っていた。近隣住民の「悪臭がする」といった苦情があり発覚。近隣住民らは飼い主に苦情を伝えたが、「(自分は)動物愛護家。かわいそうだから飼っているだけだ」と取り合わなかった。 (2019/11/29 朝日新聞・東京新聞・読売新聞・下野新聞、2019/12/4 読売新聞)
28	2019/12以降	和歌山県田辺市・日高川町	鶏 16万羽	男性・62歳 (養鶏業 者理事)	2020年7月17日、和歌山県警は動物愛護管理法違反(虐待)容疑で養鶏業者の理事(62)を逮捕した。日高川町と田辺市の養鶏農場で鶏約16万羽に餌を与えず、衰弱させて虐待した疑い。鶏はすべて死んだ。養鶏業者は2019年12月に経営不振から取引を停止した。県は2019年12月～2020年2月に計6回、動物愛護管理法に基づき行政指導したが改善が見られず、2月下旬に県警に刑事告発。県警は3月4日に受理し、捜査していた 2020年8月7日、和歌山地検は男性を処分保留で釈放した。地検は捜査継続のためとして理由は明らかにしていない。 2021年3月19日、湯浅区検は不起訴(嫌疑不十分)とした。 (2020/2/20 読売新聞、2020/6/20 朝日新聞、2020/7/17 時事通信、2020/7/18 朝日新聞・読売新聞、2020/8/8 朝日新聞・読売新聞、2021/03/20 読売新聞)
29	2020/1	北海道札幌市	猫 複数頭	母・50代 息子・20代	北海道警は動物愛護管理法違反(虐待)容疑で札幌市の母子を札幌区検に書類送検した。2020年1月、排せつ物を放置した劣悪な環境で猫数頭を飼育し、餌を十分に与えないなどの虐待を加えていた疑い。他に数十頭のやせた猫が見つかり、市保健所に保護された。 (2020/3/30 読売新聞)
30	2020/1/14	福岡県福岡市	犬1頭	男性・70歳	2020年1月14日、福岡市の路上で男性がリードを引っ張って犬をつり上げる、地面にたたきつける等の暴行を加え、その様子を撮影した動画が1月17日にSNSに投稿された。 2020年1月24日、福岡県警早良署は男性を福岡地検に書類送検した。 2020年3月30日、福岡地検は男性を不起訴とした。「諸事情を考慮した」としている。 (2020/1/19 読売新聞、2020/1/24 読売新聞・毎日新聞・西日本新聞、2020/1/25 毎日新聞・日本経済新聞、2020/3/31 読売新聞)
31	2020/3	北海道札幌市	猫 238頭	夫婦・50代 息子・30代	2020年3月末に札幌市北区の一軒家で猫238頭が保護された。一軒家は二階建てで、50代の夫婦と30代の息子が借りて住んでいた。 (2020/5/20 中日新聞)
32	2020/4/9～6/8	宮城県仙台市	猫 18頭	女性・50歳	2020年7月20日、宮城県警は動物愛護管理法違反の疑いで、女性(50)を書類送検した。2020年4月9日から6月8日までの間、住居アパートで飼い猫18頭に餌や水を与えずに放置して衰弱させた疑い。部屋からは18頭の白骨化した猫の死体と大量の糞が見つかった。2019年6月頃、猫とともにアパートに転居したが、猫アレルギーが悪化し、約2週間後に猫を置いて別のアパートに引っ越した。 2020年2月5日、仙台区検は仙台簡裁に略式起訴し、同簡裁は2月9日に罰金10万円の略式命令を出した。 (2020/7/20 共同通信、2020/7/21 朝日新聞・読売新聞、2021/2/11 読売新聞・河北新報)
33	2020/5/12	東京都渋谷区	コツメカワウソ 2頭	女性・38歳	2022年9月29日、動物愛護管理法違反(虐待)の疑いで女性(38)を書類送検した。2020年5月12日午後6時35分頃、自宅で飼育していたコツメカワウソ2頭(オス10歳、メス3歳)を、紙を棒状に丸めて粘着テープで固めたものでたたいたり、追い回したりして虐待した疑い。送検容疑となった様子を撮影した動画がWeb上に流出し発覚した。常習的な虐待は認められなかったなどとして、送検にあたり検察に起訴、不起訴の判断を委ねる「相当処分」の意見を付けた。 女性は約15年前からコツメカワウソを飼育しており、SNSで日常の飼育の様子を投稿して人気だった。 (2022/9/29 朝日新聞・読売新聞・中日新聞・静岡新聞、2022/9/30 産経新聞・下野新聞・神戸新聞・四国新聞)

事件発生年月日	事件発生場所	動物	主体	内容	
34	2020/6 以前	京都府八幡市	犬と猫 複数頭	女性・54 歳	<p>八幡市の女性宅で、数十頭の犬や猫が死んでいるのが見つかった。2020 年 5 月にも「虐待行為があるのでは」と通報があったが、女性に断られたため家の中には入れなかった。</p> <p>女性は 20 年ほど前からボランティアを始め、高齢または負傷した犬や猫も引き取り、関係者から「神様」扱いられていた。保健所によると、一定数以上の犬や猫を非営利で保管したり、譲渡したりする場合に必要な「第 2 種動物取扱業」の登録はしていなかった。</p> <p>2020 年 6 月 5 日、八幡署が女性宅を家宅捜索して数十頭の死骸を確認した。女性は年間 200 頭ほども引き取っていたが、生きて見つかったのは、犬 21 頭と猫 4 頭だけだった。</p> <p>2020 年 11 月 19 日、京都府警は動物愛護管理法違反（殺傷、虐待）容疑で女性（54）を逮捕した。</p> <p>2020 年 12 月 10 日、京都府検が動物愛護管理法違反で略式起訴し、京都簡裁は同日、罰金 30 万円の略式命令を出した。</p> <p>(2020/6/10 朝日新聞、2020/6/12 J-CAST ニュース、2020/11/19 朝日新聞・読売新聞、2020/11/20 朝日新聞・読売新聞・毎日新聞・産経新聞、2020/12/11 朝日新聞・読売新聞、2021/7/10 富山新聞、2021/11/27 朝日新聞・読売新聞)</p>
35	2020/6/3	愛知県名古屋市東区	猫 1 頭	男性・59 歳	<p>2021 年 10 月 20 日までに、愛知県警東署は動物愛護管理法違反の疑いで男性（59）を逮捕した。2020 年 6 月 3 日、当時住んでいた名古屋市東区の自宅で、子猫を浴槽に入れ、底に足が着かない状態で 1 分 29 秒間泳がせた疑い。男性は SNS に虐待の様子や片手で猫の首を絞めるような様子を写した動画を投稿していた。</p> <p>2022 年 3 月 10 日、名古屋地検は男性を不起訴とした。理由は明らかにしていない。</p> <p>(2021/10/20 東京新聞・中日新聞・北国新聞、2021/10/21 毎日新聞・毎日新聞・中日新聞・産経新聞・福島民友・北海道新聞・東京新聞、2022/3/29 読売新聞・毎日新聞・中日新聞)</p>
36	2020/6/21 以前	兵庫県三木市	犬 66 頭	男性・55 歳	<p>2020 年 6 月 21 日に三木市の住民から「空き家で犬が多数飼育され、鳴き声もすごい。保護してほしい」との通報があった。1、2 階には数年分とみられる排せつ物、犬の毛、餌の残りが数トン堆積。飼育していた男性（55）は別の場所で暮らし、2、3 日に 1 回訪れていた。保護された犬は体中が汚れていたが、衰弱はしていなかった。</p> <p>2020 年 6 月 24 日、兵庫県警生活経済課などは男性を動物愛護管理法違反容疑で逮捕した。長期にわたり空き家で犬を放し飼いにしていたとみられ、排せつ物が約 50 センチたまった場所もあったという。県警などは逮捕後、犬 66 頭を保護した。</p> <p>2020 年 6 月 26 日までに兵庫県警は男性を動物愛護管理法違反（虐待）の疑いで送検した。</p> <p>2020 年 7 月 15 日、神戸区検は男性を起訴した。</p> <p>(2020/6/28 日本経済新聞、2020/6/29 日本経済新聞・毎日新聞・読売新聞・日刊スポーツ・岩手日報、2020/7/15 神戸新聞、2020/9/11 神戸新聞)</p>
37	2020/7 以前	島根県出雲市	犬 164 頭	—	<p>出雲市の住宅街で、164 頭の犬が 8 畳 2 間で飼われていることがわかった。繁殖が繰り返され、多頭飼育崩壊が起きていた。</p> <p>2020 年 7 月、保健所の立ち入り調査を求め、住民らが署名を提出。保健所は同月、動物愛護管理法に基づいて立ち入り検査した。ただ、汚物が適切に処理されていたなどとして、住民らには「虐待はなかった」と報告。飼育頭数も正確に数えられていなかったという。</p> <p>(2020/10/30 産経新聞、2020/11/3 朝日新聞・毎日新聞)</p>

	事件発生年月日	事件発生場所	動物	主体	内容
38	2020/8, 2020/10, 2022/4/23, 2022/5/3, 2022/5/7	神奈川県藤沢市	犬と猫 計約 100頭	男性・59歳 (動物保護 団体代表)	2021年9月7日、神奈川県警が動物愛護管理法違反容疑で藤沢市にある団体を家宅捜索し、犬や猫計約100頭を保護した。団体の代表は、人に噛みつくような犬等を預かり矯正する活動をしており、保健所からも指導を受けておらず、強制捜査は不当だと主張している。 2022年3月9日、藤沢北署は動物愛護管理法違反(虐待)容疑で動物保護団体と代表の男性(59)を横浜地検に書類送検した。容疑は2020年8月と10月、施設で飼育中の複数の犬をたたいたり、蹴ったりするなど虐待した疑い。 2022年10月27日、横浜地検は不起訴処分とした。理由は明らかにしていない。 2022年11月9日、藤沢北署は動物愛護管理法違反の疑いで男性を逮捕した。逮捕容疑は2022年4月23日午後8時51分頃から同52分頃までの間、飼養敷地内で、犬1頭に対し棒で突く暴行を加えたほか、同5月3日と同7日にもそれぞれ犬1頭に対し平手で殴打する暴行を加え、虐待した疑い。 (2021/9/15 東京新聞・神奈川新聞・熊本日日新聞、2022/9/3 読売新聞、2022/9/18 神奈川新聞、2022/10/27 神奈川新聞、2022/10/28 読売新聞、2022/11/9 共同通信・神奈川新聞・朝日新聞、2022/11/10 朝日新聞、2022/11/11 東京新聞)
39	2020/9頃	愛知県新城市	猫約 80頭	—	愛知県新城市の民家で猫が大量繁殖し、「多頭飼育崩壊」が起きている。9月末時点で約80頭の猫が確認されている。 (2020/9/28 毎日新聞)
40	2020/9	神奈川県海老名市	猫 144頭	男性・56歳 女性・52歳	2020年9月末、神奈川県海老名市の住宅で猫144頭が保護された。近隣住民から5月に相談があり発覚。9月15日、保健福祉事務所が130頭以上を確認、9月29日までに144頭を保護した。 2020年11月26日、海老名署は動物愛護管理法違反(虐待)容疑で夫婦(56)(52)を書類送検した。猫の死骸を放置したままの自宅で、猫139頭を飼育した疑い。 2020年12月14日、横浜区検が動物愛護管理法違反で略式起訴し、横浜簡裁は同日、それぞれ罰金20万円の略式命令を出した。 (2020/10/2 共同通信、2020/10/3 中日新聞・産経新聞、2020/10/7 朝日新聞、2020/11/26 朝日新聞・読売新聞・産経新聞、2020/11/27 読売新聞・中日新聞、2020/12/16 朝日新聞・読売新聞)
41	2020/9/24	宮城県亶理町	犬約 40頭 ヤギ約 40頭	男性・55歳	2020年9月24日、宮城県警は動物愛護管理法違反の疑いで男性(55)を逮捕した。2020年9月24日午前7時15分頃、亶理町内のビニールハウス内で、劣悪な環境のままヤギ約40頭、犬約40頭を飼育した疑い。排泄物が約1メートル積もった状態だったという。2018年4月に保健所に「環境が劣悪だ」といった情報提供があり、15回ほど改善を指導したが、従わないため7月に亶理署に相談した。かつてはヤギを連れてアニマルセラピーのボランティアをしていた。 2020年12月2日、仙台簡裁は刑通り罰金10万円の略式命令を出した。 (2020/9/24 日刊スポーツ、2020/9/25 読売新聞、2020/9/26 朝日新聞・読売新聞、2020/10/20 読売新聞、2020/11/20 読売新聞、2020/12/3 朝日新聞)
42	2020/12/9	岩手県宮古市	犬約 20頭	女性・61歳	2021年1月18日、宮古署は動物愛護管理法違反(虐待)の疑いで女性(61)を逮捕した。2020年12月9日頃、自宅に隣接する親族の家で飼育する犬約20頭を、排せつ物が堆積した不衛生な環境で飼育した疑い。 (2021/01/20 読売新聞)
43	2020/12/12	埼玉県川口市	犬1頭	男性・40代	2020年12月15日、埼玉県警が川口市の男性(40代)を動物愛護管理法違反容疑で逮捕した。2020年12月12日、川口市内の芝川沿いの路上で散歩中小型犬パピヨンの頭部を蹴り、殺した疑い。 2021年1月6日、さいたま地検は男性をさいたま地裁に起訴した。 (判決については「判例の一覧(25ページ)」の3番を参照) (2020/12/18 朝日新聞・読売新聞、2021/1/7 読売新聞)
44	2021/1以前	福島県福島市	猫約 50頭	男性(ブリーダー)	2021年1月、ブリーダー業を営む男性が猫約50頭を劣悪な環境で飼育していたのが見つかった。敷地を逃げ出した猫やウサギが民家の庭を荒らすなどの被害が出ていた。住民の依頼で横浜市の動物愛護団体が2021年1月までに40頭以上を保護した。 (2021/3/1 福島民報)

事件発生年月日	事件発生場所	動物	主体	内容
45	2021/1/8	大阪府箕面市	猫1頭 男性・30代	2021年1月26日、大阪府警は動物愛護管理法違反容疑で男性を書類送検した。2021年1月8日に消毒用のエタノールを浴びせ、火のついた割りばしを体に押し付けた容疑。 2021年4月、大阪地検は男性が動物病院を受診したことなどを考慮し、不起訴（起訴猶予）とした。 2021年7月14日、大阪第3検察審査会は男性を不起訴とした大阪地検の処分を不当とし、「起訴相当」と議決した。 2021年10月28日、大阪府池田区検が男性を略式起訴したことが分かった。 2021年11月5日、大阪池田簡裁は罰金10万円の略式命令を出した。 (2021/1/27 産経新聞、2021/8/3 産経新聞、2021/10/29 静岡新聞・産経新聞・富山新聞・山陽新聞、2021/11/16 産経新聞・読売新聞、2022/1/1 産経新聞、2022/1/11 産経新聞、2022/1/31 共同通信)
46	2021/2 以前	岐阜県養老町	犬約60頭 男性・68歳	2021年2月24日、岐阜県警は動物愛護管理法違反の疑いで男性(68)を逮捕した。犬の排せつ物が堆積し、犬の死体が放置された不衛生な環境で、犬約60頭を飼育した疑い。 2021年3月16日、岐阜地検大垣支部は男性を不起訴とした。地検は「刑事責任能力の点も含め慎重に捜査した結果」としている。 (2021/2/25 中日新聞、2021/3/18 読売新聞、2021/3/19 中日新聞)
47	2021/4/12	東京都大田区	動物24種 58頭 女性・46歳	2021年4月14日、蒲田署は動物愛護管理法違反の疑いで女性(46)を逮捕したと発表した。4月12日、犬5頭を動物の排せつ物が堆積した状態で飼育し、虐待した疑い。犬は餌を与えられていたが栄養失調の状態だった。女性は犬7頭猫2頭の他、ワニやフクロウなど24種58匹の動物を飼育していた。 (2021/4/14 朝日新聞・読売新聞、2021/4/15 読売新聞・毎日新聞・産経新聞・東京新聞)
48	2021/4/18	北海道帯広市	馬 男性・44歳 (競馬騎手)	2021年4月18日、北海道帯広市主催のばんえい競馬にて行われたデビュー前の馬を対象とした能力検定中に、男性(44)が動けなくなった馬の顔を2回に渡って足で蹴った。市には虐待を指摘する抗議が殺到し、市は男性を戒告処分とした。 2021年8月16日、道警帯広署は動物愛護管理法違反の疑いで騎手や厩務員ら5人を書類送検した。 2021年12月14日、動物愛護管理法違反の疑いで書類送検された男性騎手ら5人について、釧路地検帯広支部は不起訴処分とした。処分理由は明らかにしていない。 (2021/4/23 東京新聞、2021/4/24 北海道新聞、2021/6/18 北海道新聞、2021/7/11 北海道新聞、2021/8/17 北海道新聞、2021/8/18 朝日新聞・読売新聞・産経新聞・福島民友・産経新聞・宮崎日日新聞・河北新報・富山新聞・中国新聞・熊本日日新聞・岩手日報・山陽新聞、2021/9/12 北海道新聞、2021/12/14 NHK、2021/12/15 朝日新聞・読売新聞・四国新聞、2021/12/16 北海道新聞)
49	2021/4/27	静岡県富士市	犬85頭 女性・51歳 (動物販売業者)	2021年5月11日、静岡県警は動物愛護管理法違反の疑いで女性(51)を逮捕した。4月27日、自宅に併設する屋外飼育施設で、排せつ物が堆積するなどした状態で小型犬85頭を飼育し虐待した疑い。女性は犬の販売業を営んでおり、広さ約50平方メートルの糞が堆積した屋外の施設で、環境省の基準を超える飼育密度で飼育していた。 2021年5月21日、富士区検は女性を富士簡裁に略式起訴した。同日、同簡裁は罰金20万円の略式命令を出した。 (2021/05/11 静岡新聞、2021/5/12 産経新聞・神奈川新聞・中日新聞、2021/5/20 中日新聞、2021/5/22 静岡新聞)

事件発生年月日	事件発生場所	動物	主体	内容	
50	2021/6～10/29	埼玉県さいたま市	猫 複数頭	女性・60歳 (動物繁殖販売業)	2022年9月28日、県警生活経済課と浦和署は動物愛護管理法違反(虐待)の疑いで動物繁殖販売業の女性(60)を逮捕した。自宅で飼養していた猫6頭が病気にかかっていたにも関わらず2021年6月頃～10月29日までの間、獣医師の診療を受けさせるなどの適切な保護をせずに虐待した疑い。3階建ての自宅で約180頭の猫を飼っており、多頭飼育崩壊の状態にあったとみられる。2021年10月頃、「買った猫がすぐに病気になった」との相談が県警などに複数あり、捜査していた。 2022年10月27日、県警生活経済課と浦和署は動物愛護管理法違反(虐待)の疑いで女性を再逮捕した。再逮捕容疑は2021年6～10月、飼育していた猫1頭が耳の病気にかかっていたにも関わらず適切な保護をしなかった疑い。 2022年11月4日、さいたま地検は不起訴とした。理由は明らかにしていない。 (2022/9/28 NHK、2022/9/29 読売新聞・東京新聞・埼玉新聞、2022/10/28 東京新聞・埼玉新聞、2022/11/5 読売新聞)
51	2021/6～2022/11	大阪府河内長野市	犬 26頭	男性・63歳	2022年11月22日、大阪府警は動物愛護管理法違反(虐待)の疑いで男性(63)を逮捕した。逮捕容疑は2021年6月～2022年11月、自宅の敷地内で犬26頭を野外に放置するなどし、うち12頭に皮膚炎を発症させた疑い。 自身が住む母屋とは別の離れや敷地内に犬の糞が散乱し、離れの抜けた床にドッグフードが撒かれていた。犬の出産を把握せず、犬が増えて管理できなくなったとみている。約20年前から近隣住民から「犬が抜け出して住民を追いかけ回している」など相談があった。 (2022/11/22 朝日新聞・毎日新聞、2022/11/23 読売新聞)
52	2021/6/24	静岡県浜松市	ニホンザル 2匹	男性・66歳 女性・68歳	2021年10月1日、天竜署はニホンザルを違法に飼育したとして、鳥獣保護法と動物愛護法違反の疑いで浜松市天竜区の夫婦を書類送検した。送検容疑は6月24日、自宅敷地内で違法に捕獲したニホンザル2匹をふんが堆積した状態で飼育して虐待したとされている。 2021年12月1日までに浜松区検は、夫婦を動物愛護法違反の罪で浜松簡裁に略式起訴した。同簡裁は男性に罰金10万円、女性に罰金5万円の略式命令を出した。国や県の許可なくサルを捕獲した鳥獣保護法違反容疑については不起訴処分とした。 (2021/10/1 中日新聞・静岡新聞、2021/10/2 中日新聞、2021/12/2 静岡新聞)
53	2021/9以前	長野県松本市	犬 約千匹	男性・60歳 (経営者) 男性・48歳 (従業員)	2021年9月10日、松本市にある犬販売の事業所が犬を劣悪な環境で飼育しており、動物愛護管理法違反の疑いで家宅捜索が行われた。 2021年11月4日、長野県警は事業所の男性2人を動物愛護法違反(虐待)容疑で逮捕した。 2021年11月24日、松本署は子犬の繁殖のため、犬を虐待したとして、男性2名を再逮捕した。11月4日の逮捕とは別の施設での虐待についての容疑。 2021年12月15日、長野地検松本支部は施設を経営していた男性を起訴し、従業員の男性は不起訴とした。地検は処分の理由を明らかにしていない。 2021年12月20日、長野地裁松本支部は男性の保釈を認めた。 2022年3月16日、男性に対する初公判が長野地裁松本支部で行われ、男性は起訴内容を認めた。 (2021/9/11 信濃毎日新聞、2021/9/15 信濃毎日新聞・中日新聞、2021/10/19 中日新聞、2021/11/4 読売新聞・中日新聞・北国新聞、2021/11/5 朝日新聞・日本経済新聞・中日新聞、2021/11/10 中日新聞、2021/11/25 朝日新聞・2021/12/16 朝日新聞・読売新聞・中日新聞、2022/1/7 読売新聞、2022/3/17 朝日新聞・読売新聞)
54	2022/1/13以前	千葉県柏市	シャモ 38羽	—	2022年1月13日に柏署が柏市内の養鶏場を動物愛護管理法違反(虐待)容疑で家宅捜索し、くちばしなどを切られたシャモ38羽などを押収した。養鶏場関係者は「闘鶏の練習場だった」と説明している。 (2022/1/19 朝日新聞、2022/1/21 読売新聞)

	事件発生年月日	事件発生場所	動物	主体	内容
55	2022/2/28	和歌山県白浜町	犬 56頭	父・80歳 息子・42歳 (動物繁殖・ 販売業者)	2022年5月23日、犬の繁殖販売業者の親子を動物愛護管理法違反(虐待)容疑で逮捕した。逮捕容疑は2月28日、共謀した上で、排せつ物が堆積(たいせき)した飼育施設内で小型犬56頭を飼育するなどして虐待した疑い。2022年6月14日、和歌山地方検察庁は親子を処分保留で釈放した。捜査継続のためとして理由を明らかにしていない。 2022年8月3日、和歌山地方検察庁田辺支部は不起訴(嫌疑不十分)とした。「事実を認定するに足りる十分な証拠が認められなかった」としている。 (2022/5/24 読売新聞・静岡新聞、2022/5/25 朝日新聞、2022/6/15 朝日新聞、2022/8/3 NHK、2022/8/5 読売新聞)
56	2022/3/2	千葉県八街市	犬 221頭	女性・63歳	2022年6月14日、千葉県警は動物愛護管理法違反(虐待)の疑いで女性(63)を書類送検した。3月2日、2階建ての自宅内で、繁殖の制限や排せつ物の適正処理などをせず、不衛生な状態で犬221頭を飼育し、虐待した疑い。165頭が結膜炎を患い、10頭は栄養失調だった。 2022年11月9日、佐倉区検は女性を佐倉簡裁に略式起訴した。 (2022/6/14 千葉日報・信濃毎日新聞・NHK、2022/6/15 朝日新聞・読売新聞・岩手日報・秋田魁新報・神戸新聞・中国新聞・四国新聞・宮崎日日新聞・佐賀新聞・沖縄タイムス、2022/6/20 NHK、2022/11/10 朝日新聞・東京新聞・千葉日報、2022/11/13 毎日新聞)
57	2022/5/27	新潟県新潟市	猫7頭	男性・71歳	2022年6月3日、新潟県警・西蒲警察署などは動物愛護管理法違反の疑いで男性(71)を逮捕した。逮捕容疑は5月27日、猫7頭を排せつ物が堆積した自宅内で飼育し猫を虐待した疑い。 (2022/6/3 NST新潟総合テレビ)
58	2022/6/15	富山県魚津市	犬5頭	女性・44歳 (動物販売 業者)	2022年11月17日、富山県警は動物愛護管理法違反の疑いで女性(44)を逮捕した。6月15日、経営していた魚津市内のペットショップで、病気やけがをした犬5頭に適切な処置をせず、虐待をした疑い。店の冷凍庫からは大量の犬の死骸が発見され、県警は虐待が長期間におよんでいた可能性もあるとみて調べている。 2022年12月7日、富山区検は同法違反で女性を富山簡裁に略式起訴した。同簡裁は同日、罰金20万円の略式命令を出した。 (2022/11/18 北日本新聞、2022/11/19 読売新聞、2022/12/8 読売新聞・北日本新聞)
59	2022/ 7/21,8/16	群馬県沼田市	犬 30頭	男性・69歳	2022年9月7日、群馬県警沼田署は動物愛護管理法違反の疑いで男性(69)を逮捕した。7月21日、飼育場の犬約30頭のうち、病気やけがのある犬に適切な保護をしない虐待を行っていたほか、8月16日には犬の死骸を放置した状態で飼育を続けて虐待した疑い。 2年前に別の場所で複数の犬を飼育し、「犬が逃げ出した」などの通報があった。現在の飼育場では7月初めから約30頭が飼われていた。病気で弱っている犬も放置されており虐待にあたるかと判断した。 (2022/9/8 朝日新聞・読売新聞・上毛新聞、2022/9/9 東京新聞)
60	2022/11/17	沖縄県南大東村	猫 38頭	女性・50代	2022年11月30日、那覇署と沖縄県警生活保安課は動物愛護管理法違反容疑で女性(50代)を逮捕した。11月17日、倉庫で猫の死骸や糞尿が堆積した不衛生な環境で38頭の猫を飼育していた疑い。 女性は野良猫の保護活動をしており、2011年頃から倉庫で猫を飼い始めた。飼育する建物は元倉庫で、床は猫の糞尿や猫の毛などが数センチの高さに堆積し、猫の死骸が多数放置されていた。 南大東村では13年頃に猫が引っかかりしてかかる「猫引っかけ病」に村民が少なくとも3人感染。一命を取り留めたものの本島に救急搬送された例もあった。村は再発防止を掲げ、条例を制定した。村は9月に「南大東村飼い猫の適正な飼養および管理に関する条例」に基づき立ち入り調査を実施。環境の改善を勧告したが是正されず、那覇署に通報した。 2022年12月2日、那覇署は女性を那覇地検へ送致した。 2022年12月22日、那覇区検は動物愛護管理法違反(虐待)の罪で女性を略式起訴した。那覇簡裁は同日、罰金10万円の略式命令を出した。 (2022/12/1 琉球新報・沖縄タイムス、2022/12/2 琉球新報・沖縄タイムス・TBS・QAB琉球朝日放送、2022/12/3 沖縄タイムス、2022/12/20 沖縄タイムス、2022/12/21 琉球新報、2022/12/23 琉球新報・沖縄タイムス)

③ 遺棄

	事件発生年月日	事件発生場所	動物	主体	内容
1	2018 秋	新潟県長岡市	タヌキ 5 頭	男性 (動物園職員)	悠久山小動物園の男性職員が 2018 年秋に同園のタヌキ 5 頭を市内の山林に捨て、動物愛護管理法違反容疑で書類送検されたが不起訴(起訴猶予)となった。 (2020/6/27 読売新聞)
2	2018/5/26	沖縄県浦添市	猫 1 頭	女性・68 歳	2018 年 7 月 18 日、浦添署は動物愛護管理法違反の疑いで女性(68)を那覇区検に書類送致した。容疑は 2018 年 5 月 26 日午前 8 時 50 分頃、生後約 4 カ月の雌の猫の目や両手、両足にガムテープを貼って、燃えるごみの回収日に袋へ入れて自宅前に捨てた疑い。 (2018/7/19 沖縄タイムス)
3	2018/6～7	山形県米沢市・ 福島県伊達市・ 折町	犬 26 頭	—	2018 年 6～7 月にかけて、福島県北部や山形県の路上でマルチーズなど、ペットとして人気の犬種 26 頭が放置されていた。福島県伊達市や桑折町、山形県米沢市の路上で、歩き回っていたところを保護された。保護された場所が 50 キロ以内と近いことから、繁殖業者などが経営に行き詰まり、放置したとみている。 (2018/8/8 朝日新聞)
4	2018/ 9/18～19	栃木県上三川町	犬 13 頭	—	2018 年 9 月 18～19 日、上三川町内で小型犬 8 頭が相次いで保護された。保護されたのは、トイプードルとみられる 6 頭と、フレンチブルドッグ、チワワとみられる 1 頭ずつ、栃木県動物愛護指導センターも 18 日、路上や鬼怒川河川敷で 5 頭を保護した。 (2018/9/20 読売新聞)
5	2018/11～ 2019/4	栃木県宇都宮市	犬 20 頭	—	2018 年 11 月から 2019 年 4 月までの 3 回にわたり、宇都宮動物園で捨てられたとみられる子犬計 20 頭が見つかり、保護された。 (2019/5/9 読売新聞、2019/5/10 毎日新聞)
6	2019/3/16	三重県鈴鹿市	猫 1 頭	男性・54 歳	2019 年 3 月 8 日夜、約 40 頭の猫がすみ着いている鈴鹿市の小屋で、男性が猫を蹴り上げようとする様子が監視カメラに記録されていた。3 月 16 日に生後約半年の子猫の首にひもをくくりつけ、引きずりながら連れ去る様子も記録されていた。 2019 年 4 月 1 日、鈴鹿署は窃盗の疑いで男性(54)を逮捕した。 2019 年 4 月 9 日、鈴鹿署は動物愛護管理法違反(遺棄)の疑いで男性を書類送検した。送検容疑は市内の女性が世話をしていた猫 1 頭を小屋から連れ去った後、自宅近くで遺棄した容疑。 2019 年 4 月 11 日、窃盗の罪で略式起訴され、津簡裁から罰金 20 万円の略式命令を受け、即日納付した(遺棄容疑については不詳)。 (2019/3/20 朝日新聞、2019/4/2 朝日新聞・中日新聞、2019/4/12 中日新聞)
7	2019/9 以降	徳島県	猫 10 頭	—	徳島県北部の運送会社営業所が、野良猫約 10 頭を駆除し、県警が動物愛護管理法違反(遺棄)の疑いで捜査した。2019 年ころから営業所隣の空き地に猫がすみ着き、従業員らが餌をやるなどしていたが、営業所所長が業者に駆除を依頼した。業者は「猫は野山に捨てる」などと説明していた。 (2021/6/28 読売新聞)
8	2019/ 9/15～16	高知県高知市	犬 1 頭	—	2019 年 9 月 15 日から 16 日にかけての深夜、高知市孕東町の県中央小動物管理センター前に、秋田犬が置き去りにされていた。 (2019/9/18 高知新聞)
9	2020/2/10	神奈川県鎌倉市	猫 1 頭	—	2020 年 2 月 10 日、鎌倉市の商業施設のコインロッカー内に、猫 1 頭が遺棄された。11 日に通行人が猫の鳴き声に気づき発覚した。 (2020/2/20 神奈川新聞、2020/2/21 東京新聞)
10	2020/2～ 2020/3	秋田県秋田市	猫 複数頭	男性・40 代 (警察官)	2020 年 5 月 13 日、秋田県警は 40 代男性警察官を書類送検した。2020 年 2～3 月、自宅敷地内に設置した動物捕獲用のおりで近所の飼ひ猫複数頭を捕まえ、市郊外の山の近くなどに遺棄した疑い。遺棄された中には飼ひ猫もいた可能性がある。 2020 年 8 月 4 日、秋田地検は男性を不起訴処分(起訴猶予)とした。「諸般の事情を考慮した」としている。 (2020/5/20 秋田魁新報、2020/5/21 朝日新聞、2020/6/20 朝日新聞、2020/8/5 朝日新聞、2020/8/7 朝日新聞)

	事件発生年月日	事件発生場所	動物	主体	内容
11	2021/3 中旬	静岡県静岡市	猫 14 頭	男性	2021 年 6 月 18 日に、動物愛護管理法違反の疑いで男性が静岡地検に書類送致された。2021 年 3 月中旬頃、当時居住していた賃貸住宅に猫 14 頭を置き去りにし、遺棄した疑い。 (2021/6/19 静岡新聞)
12	2021/4/2	兵庫県神戸市	犬 1 頭	—	2021 年 4 月 2 日、男性が表六甲ドライブウェイ道路端でトイプードルを保護した。両方の後ろ足は粘着テープが巻かれ、前足にもテープの切れ端が付いていた。マイクロチップなどから販売したペットショップと飼い主が判明したが、飼い主は所有権を放棄した。 (2021/5/18 朝日新聞)
13	2021/4/12	岡山県倉敷市	猫 3 頭	男性	2021 年 6 月 3 日、倉敷署は動物愛護管理法違反（遺棄）の疑いで男性を書類送検した。2021 年 4 月 12 日、倉敷市の商業施設内に設置されたごみ箱に、ビニール袋に入れた子猫 3 頭を捨てた疑い。 (2021/6/4 山陽新聞)
14	2021/6/11	長崎県長崎市	猫 4 頭	男性・27 歳	2021 年 6 月 29 日、大浦署は動物愛護管理法違反の疑いで男性（27）を逮捕した。2021 年 6 月 11 日、猫 4 頭をごみ袋に入れ、自宅近くのごみステーションに捨てた疑い。6 月 15 日までに 4 頭とも死んだ。 (2021/6/30 西日本新聞)
15	2021/ 10/23 ~ 25	沖縄県与那原町	猫 15 頭	—	与那原町内で子猫が路上や公園などに遺棄されているのが相次いで発見され、2021 年 10 月 23~25 日の 3 日間で 15 頭を保護した。 (2021/10/29 琉球新報)
16	2021/11/10	広島県福山市	犬 1 頭	男性・49 歳	2021 年 11 月 10 日、福山東署は建造物侵入と動物愛護管理法違反の疑いで男性（49）を逮捕した。福山市内のマンションに侵入し、飼っていた犬のリードを手すりにつないで放置し、捨てた疑い。 2021 年 11 月 25 日、福山区検は男性を不起訴処分とした。「送致事実を認定するに足りる十分な証拠がないため」としている。 (2021/11/26 中国新聞)
17	2022/3	岐阜県西濃地域	猫 1 頭	—	2022 年 3 月、岐阜県西濃地域の商業施設で袋に入れられて顔だけを出した猫が見つかった。 (2022/3/13 岐阜新聞)
18	2022/ 5/18 ~ 19	宮崎県三股町	猫 複数頭	—	2022 年 5 月 19 日、三股町長田で洗濯ネットに入った猫の死骸が見つかった。18、19 日には、町内の公園で箱に入った子猫など 16 頭が見つかった。 (2022/5/25 朝日新聞)
19	2022/5 ~ 2022/7	福岡県北九州市・ 岡垣町・宗像市・ 荇田町	犬 複数頭	男性・49 歳 女性・45 歳	2022 年 5 月下旬～7 月 15 日の間に北九州市、岡垣町、宗像市でミニチュアダックスフント計 34 頭が保護された。いずれも成犬で、首輪やマイクロチップは装着されていなかった。19 日までに北九州市、宗像市、荇田町でさらに 13 頭が保護された。 2022 年 9 月 29 日、福岡県警は動物愛護管理法違反（遺棄）容疑で北九州市の夫婦を逮捕した。逮捕容疑は 7 月 14 日、福岡県宗像市富地原の路上に、ミニチュアダックスフントの雄 4 頭、雌 5 頭を置き去りにした疑い。夫婦は正規のブリーダーではなく、多頭飼育崩壊状態だったとみられる。 2022 年 10 月 14 日、福岡県警は他に計 19 頭を捨てたとして、福岡地検小倉支部に追送検した。7 月 12、13 日、北九州市の公園や岡垣町の空き地などに飼育していたミニチュアダックスフント計 19 頭（雄 16 頭、雌 3 頭）を遺棄した疑い。 2022 年 10 月 20 日、小倉区検は犬 27 頭について夫婦が遺棄したとして小倉簡裁に略式起訴した。同日、簡裁は両容疑者にそれぞれ罰金 20 万円の略式命令を出した。 (2022/7/15 毎日新聞・産経新聞・NHK・RKB毎日放送、2022/7/16 読売新聞・西日本新聞、2022/7/17 朝日新聞、2022/7/21 RKB毎日放送、2022/9/29 読売新聞・毎日新聞・西日本新聞・NHK、2022/9/30 朝日新聞・読売新聞・四国新聞・西日本新聞、2022/10/15 朝日新聞・読売新聞、2022/10/21 西日本新聞、2022/10/22 読売新聞)

	事件発生年月日	事件発生場所	動物	主体	内容
20	2022/5/31	滋賀県甲賀市	ウサギ 1頭	男性・25歳 女性・25歳	2022年9月8日、滋賀県警甲賀署は動物愛護管理法違反の疑いで、男女(25)を甲賀区検に書類送検した。書類送検容疑は、共謀し、5月31日に、所有・管理していたウサギ1頭を駐輪場に放置し遺棄した疑い。ペットショップでの購入履歴から2人が浮上した。 2022年11月8日、大津地検は不起訴処分(起訴猶予)とした。地検は「情状を総合的に考慮した」としている。 (2022/9/8 京都新聞・ABCニュース、2022/9/9 朝日新聞・読売新聞・中日新聞、2022/11/10 ABCニュース、2022/11/11 朝日新聞・読売新聞・中日新聞)
21	2022/6/7	愛知県名古屋市	犬2頭	女性・24歳	2022年6月7日、名古屋市の駐車場で駐車していた車に2頭の犬が放置されているのが見つかった。 2022年11月21日までに、愛知県警は動物愛護管理法違反(遺棄)の疑いで女性(24)を逮捕した。逮捕容疑は6月7日午後4時25分頃までの約11時間にわたり、名古屋市中区の駐車場に止めた乗用車内に、雄の犬2頭を置き去りにした疑い。 2022年12月9日、名古屋地検は不起訴処分とした。理由は明らかにしていない。 (2022/6/20 東海テレビ、2022/6/21 朝日新聞、2022/11/21 朝日新聞・中日新聞、2022/12/10 朝日新聞・中日新聞)
22	2022/6	岩手県奥州市	犬61頭、猫149頭、小動物103匹	—	2022年5月末に廃業した奥州市の元ペット店に犬61頭、猫149頭、ニワトリ、カナリヤ、ハムスター、コイなどの小動物103匹の計313匹が放置されていた。営業に必要な免許が失効し、経営者も亡くなったとされるため、岩手県がこれらの動物の緊急保護を実施した。 (2022/6/29 朝日新聞・NHK、2022/6/30 読売新聞・岩手日報)
23	2022/7/11	山口県山口市	猫11頭	—	2022年7月11日、保護猫施設を運営する旅館に段ボール6箱に子猫7頭と成猫4頭が入れられて遺棄されていた。 (2022/7/12 神戸新聞、2022/8/24 読売新聞)
24	2022/7	沖縄県石垣市	猫約20頭	—	南ぬ浜町緑地公園の捨て猫が今月に入り急増、7月21日までに約20頭の猫が違法に捨てられた。同公園には以前から猫を捨てられており、約80頭が公園付近で生活している。 (2022/7/22 八重山毎日新聞社)
25	2022/8/7	東京都町田市	猫34頭	—	2022年8月7日、東京都町田市内で段ボール箱に詰め込まれた母猫と子猫13頭とその付近に子猫12頭の計25頭、同夕方に母猫と子猫6頭、翌日以降に子猫3頭を保護した。 (2022/8/23 神戸新聞)

出典：G-Search データベースサービス <https://db.g-search.or.jp/>

朝日新聞記事データベース 朝日新聞クロスサーチ(旧聞蔵IIビジュアル) <https://xsearch.asahi.com/>

読売新聞記事データベース ヨミダス歴史館 <https://database.yomiuri.co.jp/rekishikan/>

毎日新聞記事データベース 毎索 <https://mainichi.jp/contents/edu/maisaku/>

産経新聞記事データベース 産経電子版 <https://denshi.sankei.co.jp/>

日本経済新聞記事データベース 日経テレコン <https://t21.nikkei.co.jp/g3/CMN0F11.do>

中日新聞・東京新聞記事データベース <https://ace.cnc.ne.jp/clip/GU200>

注：検索期間：平成30年(2018年)4月1日～令和4年(2022年)12月31日

動物の殺傷・虐待・遺棄に係る動物愛護管理法または関連法の違反容疑に関して警察の捜査等、行政の対応が確認される事例を抽出した。

Ⅲ 動物の虐待等の判例

① 動物の愛護及び管理に関する法律の違反人員

(単位：人)

年 別	通常受理	起 訴	不起訴
昭和 49年 1974	13	8	4
50年 1975	6	4	1
51年 1976	6	4	9
52年 1977	9	3	4
53年 1978	5	4	3
54年 1979	6	3	3
55年 1980	4	2	1
56年 1981	10	5	1
57年 1982	5	2	5
58年 1983	6	3	1
59年 1984	6	3	3
60年 1985	3	2	2
61年 1986	5	3	0
62年 1987	5	2	4
63年 1988	3	0	3
平成 元年 1989	7	3	3
2年 1990	3	2	2
3年 1991	7	4	1
4年 1992	11	4	0
5年 1993	9	4	4
6年 1994	11	2	9
7年 1995	2	3	1
8年 1996	12	1	11
9年 1997	12	5	7

年 別	通常受理	起 訴	不起訴
10年 1998	8	4	4
11年 1999	3	0	3
12年 2000	14	4	11
13年 2001	18	7	10
14年 2002	39	18	22
15年 2003	12	3	9
16年 2004	27	8	21
17年 2005	47	15	27
18年 2006	48	12	35
19年 2007	51	14	36
20年 2008	72	21	47
21年 2009	54	24	36
22年 2010	58	18	41
23年 2011	55	9	47
24年 2012	46	16	32
25年 2013	49	10	32
26年 2014	71	21	51
27年 2015	89	27	55
28年 2016	94	33	57
29年 2017	109	38	73
30年 2018	143	31	110
令和 元年 2019	163	43	125
2年 2020	156	42	103
3年 2021	285	71	209

出典：検察統計統計表
https://www.moj.go.jp/housei/toukei/toukei_ichiran_kensatsu.html

② 判例の一覧

	種類	事件発生年月日	起訴年月日	裁判年月日	裁判所名	事実関係	刑罰
1	殺傷	2019/5/19 ～ 2020/5/23	2019/7/3	2019/9/17	富山 地方裁判所 高岡支部	被告人は、猫を虐待して殺そうと考え、令和元年5月19日午後1時30分頃にA県B市C方付近路上から持ち去った猫1匹（アメリカンカール、雄）に対し、同日から同月23日頃までの間、被告人方浴室において、金属製捕獲器に入れ続けて拘束することにより衰弱させながら、給餌をせず、同捕獲器の外からプラスチック製の棒でその腹部等を多数回突くなどの虐待を行い、よって、同月23日頃、同所において、同猫を死因不詳により死亡させ、もって、他人の物を傷害するとともに、愛護動物をみだりに虐待し、殺した。	懲役8月 (執行猶予4年)
2	虐待	2019/6/22 頃	2019/7/26	2019/10/18	名古屋 簡易裁判所	被告人は、令和元年6月22日頃、a所在の当時の被告人方であるb号において、飼育していたインコ1羽に対し、避妊具を被せて拘束した上、点火棒を押し付けるなどし、もって愛護動物に対し、みだりに虐待を行ったものである。	罰金20万円
3	虐待	2020/12/12	2021/1/6	2021/8/27	さいたま 地方裁判所	埼玉県川口市芝川河川敷において、犬に対し、その身体を足で蹴り、その身体に外傷が生ずるおそれのある暴行を加え、愛護動物をみだりに虐待した。	罰金20万円 (求刑罰金20万円)
4	虐待	2020/10/18	不詳	2021/10/18	神戸 地方裁判所	神戸市路上において、犬1匹に対し、みだりに身体を足蹴りするなどしてその身体に外傷が生ずるおそれのある暴行を加え、もって、愛護動物に対し、虐待を行ったものである。	罰金10万円 (求刑罰金10万円)
5	殺傷	2020/12頃	2021/8/4	2021/11/8	千葉 地方裁判所	千葉県公安委員会から狩猟及び標的射撃の用途に供するため、空気銃所持の許可を受けていたものであるが、法定の除外事由がないのに 第1 平成30年12月頃から平成31年2月8日、猫1匹に向け空気銃を発射し、同猫に右背部皮膚裂傷及び右臀部皮膚裂傷の傷害を負わせ 第2 平成30年11月下旬頃から平成31年2月20日、猫1匹に向け空気銃を発射し、同猫に盲管銃創の傷害を負わせ 第3 令和元年11月末頃から同年12月3日、猫1匹に向け空気銃を発射し、同猫を脊髄損傷による自発呼吸の停止により死亡させ 第4 令和元年10月頃から同年12月17日、猫1匹に向け空気銃を発射し、同猫に右後肢炎症の傷害を負わせ 第5 令和2年11月20日、猫1匹に向け空気銃を発射し、同猫に左側大腿骨粉碎骨折の傷害を負わせ 第6 令和2年12月11日、猫1匹に向け空気銃を発射し、同猫を胸腔内出血により死亡させ もって、いずれも法律の規定に違反して空気銃を発射し、愛護動物をみだりに殺し、又は傷つけたものである。	懲役1年6月、 執行猶予3年 (求刑・懲役 1年6月) 注：銃刀法と の併合罪によ る量刑
6	殺傷	2022/1/25	不詳	2022/3/29	大垣 簡易裁判所	被告人は、 第1 当時の妻に暴行を加え約2日間を要する全身打撲の傷害を負わせた。 第2 愛護動物である犬1匹を床や壁に複数回たたきつけ、さらに、床に1回たたきつけて殺害し、みだりに殺した。 第1の所為は刑法204条に、判示第2の所為は動物愛護管理法にそれぞれ該当するところ、各所定刑中いずれも罰金刑を選択した。	罰金30万円 (求刑罰金 30万円) 注：刑法との 併合罪によ る量刑

出典：裁判所 HP「裁判例情報」http://www.courts.go.jp/app/hanrei_jp/search1?reload=1
TKC ローライブラリー「LEX/DB インターネット」<http://www.tkc.jp/law/lawlibrary>
D1-Law.com「判例体系」<https://dtp-cm.d1-law.com/>
LIC/DB「判例秘書 INTERNET」<https://www.hanreishiso.com/hhi/>
Westlaw.japan「判例」<https://www.westlawjapan.com/>

注：本表は、「平成30年度動物の虐待事例等調査報告書」及びそれ以前の報告書における判例の掲載状況を踏まえて、最近の動物愛護管理法上の虐待・遺棄にかかる事案を上掲の出典より2022年12月31日時点で入手し一覧にしたもの。

注：本表の「種類」の欄において「殺傷」は現行法44条1項、「虐待」は現行法44条2項の適用があった事。

注：本表の「事実関係」の欄は、判決中の「罪となるべき事実」等の内容を抜粋したもの。ただし「事実関係」と「刑罰」の欄の斜体部分は作成者による。

巻末参考

・過去の「動物の虐待事例等調査報告書」



第1版（2007（平成19）年度版）



（環境省HP内）

https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/h1903.html



第2版（2009（平成21）年度版）



（環境省HP内）

https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/h2203.html



第3版（2013（平成25）年度版）



（環境省HP内）

https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/h2603.html



第4版（2018（平成30）年度版）



（環境省HP内）

https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/h3103b.html



「動物虐待等に関する対応ガイドライン」（2021（令和3）年度作成）

https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/r0403a.html



（環境省HP内）



「人、動物、地域に向き合う多頭飼育対策ガイドライン～社会福祉と動物愛護管理の多機関連携に向けて～」（2020（令和2）年度作成）

https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/r0303a.html



（環境省HP内）

リサイクル適性の表示：印刷用の紙にリサイクルできます

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料 [A ランク] のみを用いて作製しています。

令和4年度

動物の虐待事例等調査報告書

環境省自然環境局総務課動物愛護管理室
〒100-8975 東京都千代田区霞が関 1-2-2
電話：03-3581-3351

請負者：一般財団法人自然環境研究センター
〒130-8606 東京都墨田区江東橋 3-3-7
電話：03-6659-6310